



平成 25 年 6 月 28 日

羽村市教育委員会
教育長 角野征大様

羽村市図書館協議会
会 長 塚原 博

図書館の運営の状況について（答申）

平成 23 年 7 月 22 日、羽村市教育委員会教育長から羽村市図書館協議会会長宛、利用率向上を目指した図書館サービスの提供にあたっての標題の諮問について、ここに答申します。

「図書館の運営の状況について」

答申

平成 25 年 6 月 28 日

羽 村 市 図 書 館 協 議 会

目次

はじめに	1
1 羽村市図書館の実績からみる運営状況	1
1.1 羽村市図書館の図書館サービスへのインプット	1
1.1.1 図書館網、図書館総予算、図書館サービスカバー率、開架時間	1
1.1.2 蔵書数、市民1人当り蔵書数、市民1人当り資料費、資料購入数	1
1.1.3 集会行事・展示などの活動	2
1.1.4 消費電力	2
1.1.5 図書館職員数、司書率	2
1.2 図書館サービスのアウトプット	2
1.2.1 図書館利用登録者数、登録率	2
1.2.2 貸出点数、市民1人当り貸出点数、登録者1人当り貸出冊数、 予約サービス件数	2
1.2.3 情報メディア・コーナー利用状況	3
1.2.4 入館者数	3
1.2.5 図書館サービスの効果:図書館経費の約2.7倍の還元	3
1.3 図書館の実績からみた運営状況の評価・課題	4
1.3.1 図書館システム(サービス・ポイント)の課題	4
1.3.2 市民1人当り資料費、雑誌購入誌数についての課題	4
1.3.3 専任職員数、司書率についての課題	4
1.3.4 図書館利用登録者数、登録率についての課題	5
1.3.5 資料貸出点数、市民1人当り貸出点数についての課題	5
2 図書館サービスへの自己評価とそれに対する意見	6
2.1 図書館評価についての概観	6
2.2 全体的な評価結果について	6
2.3 各項目別の評価について	6
2.3.1 基本的事項	6
2.3.2 図書館サービス	6
2.3.3 相互協力	7
2.3.4 開館時間・休日	7
2.3.5 広報	7
2.3.6 図書館資料	7
2.3.7 職員	7
2.3.8 経費	8
2.3.9 施設	8
2.4 まとめ	8
3 羽村市図書館(本館)の来館者調査2012年にみる現状と課題	9

3.1 羽村市図書館利用者アンケート 2012 [平成 24 年] ; 選択肢回答部分	9
3.1.1 図書館利用の目的	9
3.1.2 図書館利用の目的達成度	10
3.1.3 開館時間・休館日	10
3.1.4 貸出(冊数・期間) 予約・リクエストの方法	10
3.1.5 館内での本の探しやすさ、レファレンスサービス(調べ物の手伝い)、 受付の対応	11
3.1.6 施設(閲覧室の席数) 資料(質・量)	11
3.1.7 総合的な施設の利用のしやすさ	11
3.1.8 利用者の属性	11
3.2 羽村市図書館利用者アンケート 2012 [平成 24 年] : 記述回答部分	13
3.2.1 記述回答 良いところ	13
3.2.2 記述回答 悪いところ	13
3.2.3 記述回答 意見・要望	13
3.2.4 記述回答 意見・要望への図書館からの回答	15
3.3 まとめ	15
3.3.1 図書館アンケート調査 2012 について	15
3.3.2 今回の図書館利用者アンケートと今後について	16
4 今後の図書館の運営について	17
おわりに	18

< 資料 >

- 1 : 羽村市図書館協議会委員名簿
- 2 : 羽村市図書館協議会審議経過
- 3 : 「図書館係」[図書館統計表] p.509-514.
- 4 : 図書館主要データのまとめ(平成 13 年～平成 23 年度)
- 5 : 図書館による自己評価: 図書館評価のためのチェックリスト改訂版
- 6 : 2012 (平成 24 年) 年度羽村市図書館が実施した図書館評価に対する意見書
- 7 : 羽村市図書館利用者アンケート(原票)
- 8 : 羽村市図書館利用者アンケート 2012 集計結果[8 月実施分]
- 9 : 羽村市図書館利用者アンケート 2012 集計結果[11 月実施分]
- 10 : 羽村市図書館利用者アンケート 2012 8・11 月集計結果市内外別良いところ
- 11 : 羽村市図書館利用者アンケート 2012 8・11 月集計結果市内外別悪いところ
- 12 : 羽村市図書館利用者アンケート 2012 8・11 月ご意見・ご要望への回答

「図書館の運営の状況について」 答申

はじめに

羽村市図書館協議会は、平成 23 年 7 月 22 日、羽村市教育委員会教育長から、利用率向上を目指した図書館サービスの提供にあたって「図書館の運営の状況について」という諮問を受けた。そこで、本協議会は、平成 23 年 7 月から平成 25 年 5 月の間に協議会を合計 6 回開催し、協議会委員 10 名が審議を重ねた。主に、(1) 羽村市図書館の実績からみる運営状況、(2) 図書館サービスへの自己評価、(3) 羽村市図書館（本館）の来館者調査 2012 [平成 24 年] 結果について検討を行い、この答申をまとめたものである。

1 羽村市図書館の実績からみる運営状況

ここでは、平成 23 年度の図書館の実績と、平成 13 年度から平成 23 年度までの図書館主要データに基づき、図書館サービスへのインプットとアウトプットの観点から図書館の運営状況について概観し、課題について述べる（資料 3、4 参照）。

1.1 羽村市図書館の図書館サービスへのインプット

図書館サービスへのインプットの指標として、①図書館網、図書館総予算、図書館サービスカバー率、開館時間、②蔵書数、市民 1 人当り蔵書数、市民 1 人当り資料費、資料購入数、③集会行事・展示などの活動、④図書館職員数、専門職員数、司書率をとり、それぞれについて述べる。

1.1.1 図書館網、図書館総予算、図書館サービス・カバー率、開架時間

羽村市図書館は、平成 23 年度、人口 5 万 7 千 495 人の市民に対して、図書館総予算額 1 億 6 千 3 百 2 万 228 円をもって、中央図書館機能を持つ本館を核として、地域図書館機能を持つ小作台図書室 1 室、児童サービスに重点をおいた加美分室、富士見平分室、川崎分室の 3 分室からなるサービス・ポイント（拠点）において、図書館網を形成し図書館サービスを実施した。

固定施設を中心とした半径 1 キロメートル圏で、市域の約 7 割をカバーしている。

開館曜日・時間は、火曜日から日曜日までで、開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までである。なお、小学校、中学校、高等学校等の夏期休暇期間中には早朝開館を行っている。

1.1.2 蔵書数、市民 1 人当り蔵書数、市民 1 人当り資料費、資料購入数

平成 23 年度の実績（資料 3 参照）に基づくと、蔵書数は、(1) 図書 364,496 冊、(2) 視聴覚資料 16,890 点、(3) 視覚障害者用資料 2,463 点、(4) 雑誌タイトル数 190 誌、(5) 新聞タイトル数 24 紙である。

市民 1 人当り蔵書数（視聴覚資料を除く）は、6.3 点である（対前年比 102%）。2002（平成 14）年度 5.1 点、2007（平成 19）年度 5.8 点と毎年漸増傾向にある。

資料費は、市民 1 人当り 305.8 円である（対前年比 89%）。平成 13 年度 555.0 円、2007（平成 19）年度 364.0 円と毎年減少傾向にある。

図書館資料購入数は、①図書 8,239 冊、②視聴覚資料（CD、ビデオ、カセットテープ、DVD、CD-ROM）132 点、③視覚障害者用資料（カセットテープ、デージー）0 点、④雑誌タイトル数 183 誌、⑤新聞 15 紙である。資料費減少により資料購入数は減少している。雑誌タイトル数は、前年の 247 タイトルから 57 タイトル 23%減少している。

1.1.3 集会行事・展示などの活動

集会行事・展示などの活動として、児童文学講演会 1 回、保護者向け読書相談 2 回、本館おはなし会（幼児向け毎月第 2 土曜日 12 回・小学生向け毎月第 3 土曜日 12 回・フェスティバル 1 回）、分室・図書室おはなし会 12 回、ボランティア養成講座 2 回、宅配サービス 30 回、ブックスタート 12 回、館内展示 10 回、ハーブ鑑賞会 1 回が実施されている。

1.1.4 消費電力

平成 23 年度の消費電力は、**246,510kw** である。前年比 **75.5%** である。平成 19 年度の **4118,188kw** を最大値として、その後毎年減少し、ここ数年は図書館の努力により消費が抑えられ、殊に平成 23 年度は、相当低く抑えられている。

1.1.5 図書館職員数、司書率

職員は、正職員 **8** 人で、館長 1 人・係長 1 人・係員 **6** 人（係員 **6** 人の内、司書 **3** 人。正職員の司書率 **37.5%**）と、嘱託職員 **7** 人（その内、司書 **7** 人。司書率 **100.0%**）、臨時職員 **30** 人（その内、司書 **0** 人。司書率 **0%**。）である。

1.2 図書館サービスのアウトプット

図書館サービスへのアウトプットの指標として、①図書館利用登録者数、登録率、②貸出冊数、予約サービス件数、③入館者数、④図書館サービスの効果、市民 1 人当たりへの還元をとり、それぞれについて述べる。

1.2.1 図書館利用登録者数、登録率

図書館利用登録者は、市内登録者総数 **20,810** 人で登録率 **36.2%**（対前年比 **108%**）である。一般登録者数 **18,034** 人、児童登録者数 **2,769** 人、視覚障害者登録者数 **9** 人である。そのほかに広域利用者が **8,520** 人おり、総登録者数は **29,330** 人となる。

市内登録者総数と登録率は、この 10 年間では平成 18 年度 **24,550** 人・**42.8%** と高かったが、平成 20 年度 **17,780** 人・**30.9%** と低くなり、変動が約 **12** ポイントと大きい。過去 5 年間では、今回の登録者数・登録率は一番高くなっていて、持ち直しの傾向にある。

1.2.2 貸出点数、市民 1 人当たり貸出点数、登録者 1 人当たり貸出冊数、予約サービス件数

(1) 資料総貸出点数

資料総貸出点数は、一般図書・児童図書・視聴覚資料を合わせて **407,961** 点であった。前年度に比べて **101.3%** となり微増している。市民 1 人当たり年間貸出点数は **7.1** 点、登録者 1 人当たり貸出点数 **13.9** 点である。児童登録者 1 人あたり貸出点数は **33.3** 点である。

(2) 図書総貸出冊数

図書総貸出冊数は、**370,284** 冊である。

①個人貸出冊数

図書個人貸出冊数は **366,137** 冊であり、その内訳は一般書 **278,081** 冊、児童書 **88,056** 冊である。

②団体貸出冊数

市内の保育園、小学校、中学校等合計 **14** 団体に対して、**4,147** 冊の貸出を行なった。

(3) 視聴覚資料

視聴覚資料の貸出点数は 37,677 点（前年比 99.9%）である。2003（平成 15）年度の 53,526 点をピークに漸減現象が続いている。

(4) 視覚障害者用資料

この貸出点数は、102 点である。

(5) 予約サービス件数の増加

予約件数は、25,983 件（一般図書 22,590 冊、児童図書 2,705 冊、視聴覚資料 688 件）である。予約件数は年々増加傾向にある。これは、市民と図書館の信頼度の高まっているあらわれとみられる。また、図書館の資料選択が遅れをとっているあらわれでもある。

1.2.3 情報メディア・コーナー利用状況

(1) インターネット稼働率

インターネット稼働率は、パソコン 3 台を 1 人 1 時間利用で 1 ヶ月 708 人とした場合、年間（12 ヶ月）のフル稼働の利用人数 8,496 人を基準として図ったものである。

平成 23 年度は、利用者 3,125 人で稼働率 36.8% である。前年比利用人数で 87%、稼働率 5.5 ポイント減である。この稼働率は、平成 13 年度から平成 21 年度まではほぼ 60～70% であったが、平成 22 年度に極端に 42.3% と減少し、平成 23 年度は更に減少した。

(2) 視聴覚（AV）コーナー利用件数

平成 23 年度利用者 5,022 人、1 日 17.3 人である。この利用件数は、平成 13 年度の開館当初から 4,081 人～5,420 人（1 日 14.0 人～18.5 人）の間にあり、変動幅が小さく、コンスタントに利用されている。

1.2.4 入館者数

本館の総入館者数は、241,766 人（人口の 4.25 倍）である。その内、夜間開館入館者数は 48,471（人口の 0.84 倍）、早朝開館入館者数は 2,393 人（人口の 0.04 倍）である。前年度比で 96.2%、9,522 人減少し、この 5 年間毎年漸減傾向にある。

1.2.5 図書館サービスの効果：図書館経費の約 2.7 倍の還元

『市民の図書館』（日本図書館協会）によれば、その図書館サービスの効果は、実績（貸出冊数×平均単価）－ 図書館総経費 ＝ 効果で表すことができる。

羽村市図書館について、図書貸出冊数のみについてであるが、計算してみると、

$$\begin{aligned} \text{実績（図書貸出冊数} \times \text{平均単価）} &= 370,284 \text{ 冊} \times 1,589 \text{ 円} \\ &= 588,381,276 \text{ 円} \langle \text{図書館の実績：5 億 9 千万円} \rangle \end{aligned}$$

と、実績で約 5 億 9 千万円となる。

次に、図書館総経費は、163,020,228 円であるから、効果は

$$\begin{aligned} \text{効果（実績} - \text{図書館総経費）} &= 588,381,276 \text{ 円} - 161,057,000 \text{ 円} \\ &= 427,324,276 \text{ 円} \langle \text{全市民への還元：4 億 3 千万円} \rangle \end{aligned}$$

と、効果で約 4 億 3 千万円となる。

また、人口は、57,495 人であるから、市民 1 人当たりへの還元を求めてみると、

$$\begin{aligned} \text{市民1人当たりへの還元} &= 427,324,276 \text{ 円} \div 57,495 \text{ 人} \\ &= 7,432 \text{ 円} \quad \langle \text{市民1人当たりへの還元：7千4百円} \rangle \end{aligned}$$

と、市民1人当たりへの還元は7千4百円余になる。

これは、赤ちゃんから高齢者までの市民1人あたり年間7,432円の効果があったことを示している。市民1人当たり2,801円の税金支出（図書館経費）で、市民1人について税金支出（図書館経費）の2.65倍の7,432円の還元をもたらしている。

なお、この値は、図書貸出冊数だけで計算したものであるが、実際には雑誌貸出冊数（39,000冊）や視聴覚資料・電子資料の貸出点数、情報サービスによる質問相談への回答、講演会やおはなし会などの集会行事による付加価値も受容しているから、市民は年間7,432円以上の還元、図書館経費の2.65倍以上の還元を受けているのである。

1.3 図書館の実績からみた運営状況の評価・課題

1.3.1 図書館システム（サービス・ポイント）の課題

現在のサービス・ポイント（拠点）である羽村市図書館本館、小作台図書室、加美分室、富士見平分室、川崎分室による図書館サービスは市域の約7割をカバーしているが、全市域の3割の範囲の市民がサービスを受けられていない物理的状态にある。

図書館は、一般的にすべての市民が日常生活の中で利用できるよう生活圏域に設置する。例えば、分館等を中学校区に1館程度配置し、全域サービス網を構築することが日本図書館協会によって提唱されている。700m圏内に1館地域図書館を配置することが1970（昭和45）年の東京都の「図書館政策の課題と対策」で示されている。図書館の位置は生活動線の集中するところが原則である。「貸出活動上位の公立図書館における整備状況」（以下、「整備状況」という）によれば、人口5～6万人（平均人口54,689人）の場合、図書館数は2.3館である。

当面の課題としては、現在の図書室、分室等の拡充・拡大を行うことや、新しいサービス拠点を設けるなどによって、3割の市域のサービス空白地域の解消に当たって行きたい。

1.3.2 市民1人当たり資料費、雑誌購入誌数についての課題

市民1人当たり資料費は、1.1.2で述べたように毎年減少傾向にあるが、引き戻し、引き上げたい。例えば、「整備状況」では、市民1人当たり資料費は326.3円であり、財政逼迫の折ではあるが、せめて20数円程度の引き上げを図りたい。

雑誌購入誌数は、『答申』で300誌とされており、1965年（昭和40年）のアメリカ公共図書館最低基準や、1973年（昭和48年）/1977年（昭和52年）版IFLA公共図書館の基準では570誌の購入を求めている。現在の雑誌183誌の購入はいかにも少ないため、増加をしたい。（なお、平成25年度に雑誌購入誌数が増えている。）

1.3.3 専任職員数、司書率についての課題

専任職員の司書率は、「整備計画」によれば70%である。平成24年度羽村市図書館では司書が1人増えて専任職員の司書率は37.5%と改善されたが、当面せめて全国平均の50%までに引き上げたい。

羽村市図書館の場合、嘱託職員の司書率は100%であることは大変よいことであるが、館長・係長を含む専任の正職員と嘱託職員との間に、すべてではないが、司書としての専門知識に逆転現象がおこっていると考えられる。

館長は、司書であることが求められている。図書館法の趣旨からすれば、図書館サービ

スを達成するための統括者である館長は司書の資格者であることが法の期待するところである。文部科学省『基準』では、「市町村教育員会は、市町村立図書館の館長として、その職責にかんがみ、図書館サービスその他の図書館の運営及び行政に必要な知識・経験とともに、司書となる資格を有する者を任命する」ことが望ましいとしている。

1.3.4 図書館利用登録者数、登録率についての課題

今回の登録者数・登録率は過去 5 年間では一番高く改善の方向にあるが、『答申』において指摘されているように、“すべての市民に図書館利用環境を整え、登録者率を市内人口の 40%”以上にする事“を最低の基準と考えると、平成 18 年度水準に戻す努力を行い、更に利用登録者数の増加を図りたい。

そのためには、最低でも 1 世帯当り家族の誰か 1 人以上が図書館利用登録者になれるように、全域サービス網づくりを進めて行く必要がある。

1.3.5 資料貸出点数、市民 1 人当り貸出点数についての課題

貸出点数は、僅かに増えている。市民 1 人当り年間貸出冊数は 7.1 冊で、「整備状況」に示されている 11.4 冊と比べるとその 62%である。更に市民の読書力や地域の教育力を高めるために、市民の図書館利用者を増やし利用を盛んにし、図書館利用・読書活動を盛んにする工夫をおこない、資料貸出点数を増やすことが必要である。

2 図書館サービスへの自己評価とそれへの意見

羽村市図書館が平成 23 年度に「図書館評価のためのチェックリスト改訂版」を用いて行われた自己評価への意見にそって述べる（資料 5、6 参照）。

2.1 図書館評価についての概観

羽村市図書館は、図書館法の第 7 条 3 に基づき、運営の状況の評価を行い図書館の改善を図るために、平成 22 年度から「図書館評価のためのチェックリスト改訂版」（日本図書館協会。以下、「チェックリスト」という）を用いて図書館運営評価を実施している。「チェックリスト」は市立図書館の職員が図書館の経営・活動について自己点検を行い、改めるべき問題点を見出すためのものである。これを継続的に用いることは、経年変化をみることができ大変よい。

なお、平成 24 年 12 月に文部科学省によって「基準」が改訂告示された。この基準も視野に入れて評価を実施することも今後必要である。

平成 22 年度の意見書で、市民へのアンケート調査など利用者による評価方法の開発・実施が推奨されたが、平成 23 年度も行われていない。

2.2 全体的な評価結果について

今回は、「評価できる」が前年度の 67.8%から、70.2%と改善された。席借りのみの自習室を閲覧室に改めたことと、ヤングアダルトサービスとして中学生向け司書体験講座を新たに実施したことによる。更に、80%～90%の比率に高めていきたい。

図書館経営・活動に対する各項目別の「評価できる」の結果は、「開館時間・休館日」100%、「相互協力」85.7%と大変高い評価を得ている。今回は、「図書館サービス」が 74.6%（前年 69.8%）と改善された。「広報」は前年度同様 75.0%である。次に、「職員」69.2%と「図書館資料」60.0%は 3 年間変化がなく、70%台に引き上げるよう改善したい。評価が低いのは、「基本的事項」53.8%、「施設」50.0%、「経費」0%である。3 年間全く変化がなく、経費、施設、基本的事項は特に改善が必要である。

2.3 各項目別の評価について

2.3.1 基本的事項

「基本的事項」は 53.8%で低い評価である。前々年に、“図書館整備計画”を策定するように述べられていた。『答申』においても“今後策定される長期総合計画や、生涯学習基本計画の中に、図書館計画を盛り込んでもらうように”といわれている。市の長期総合計画や生涯学習基本計画に読書活動推進は謳われたが、図書館基本計画が盛り込まれたとはいえない。

図書館協議会については、定例会の年 5 回以上開催が求められている。『答申』にも 6 回以上の開催が望ましいとされている。現在の 3 回の定例会を 4 回へと一歩改善したい。

前々年度に、利用者懇談会は“開催の方法等を工夫して再開しては”との言及があったが未だ取組まれていない。利用者懇談会の必要性は『答申』でも示されており開催したい。

2.3.2 図書館サービス

74.6%（前年 69.8%）とよい評価となった。さらに改善に努め 80%台に高めたい。

「予約サービス」、「団体貸出」、「学校・学校図書館との連携」、「集会・行事」、「レファレンス・情報サービス」は大変よい評価を得ているが、内容の充実を更に図っていきたい。

学校図書館とのシステム構築、小学生の図書館訪問などへの取り組みをも試みたい。

市民への資料案内を充実させるため、「フローワーク」の推進を図りたい。前年、前々年の指摘の通り、積極的な実施が必要である。図書館員、殊に司書はフローに出て、一人一人に対応した読書案内・書架案内を行うことと共に、安全確認を行うことが重要である。『答申』でも述べられているパンフレットやリーフレットなどの紹介も行いたい。

「児童サービス」では、一人一人の子どもへの対応を更に進め、楽しい本の世界、読書の世界へ誘うことができるように、フローワークを強化したい。

「ヤングアダルトサービス」は、今回一步前進した。さらに専任の司書の配置等も考慮し、ヤングアダルト司書であることがわかるように図書館側からアピールして、中学生、高校生の図書館利用の充実、促進を図りたい。

「高齢者」・「障害者（児）」・「入院患者（児）へのサービス」・「多文化社会サービス」なども、前々年からの課題である。「手話・点字のできる司書」の養成や、「音訳・点訳サービス」、「来館しにくい障害者への来館の手助け」、「入院患者への配本サービス」、「在住外国人向けの利用案内・申込書の用意」や「図書館サービスの広報」、「宅配サービスの拡充」などを早急に行い、積極的に取り組みたい。

2.3.3 相互協力

この項目は、**85.7%**と大変よい評価を得ている。近隣大学との連携について話合いがされている。市民の大学図書館利用と図書館間貸出（ILL）を可能にしたい。

2.3.4 開館時間・休日

この項目は、**100%**の最高の評価となっている。開館時間が日曜日午後**8**時までのところは、西多摩地域内では羽村市図書館だけである。

2.3.5 広報

この項目は、**75%**と評価が高い。「図書館だより」は年**2**回発行（半年刊）であるが、春夏秋冬の季節ごとの発行（季刊）が望まれる。また、答申では、“新聞の地方版に日常的に図書館の情報を提供していくこと”が必要と述べられている。

2.3.6 図書館資料

この項目は**60.0%**で及第であるが、資料購入費が減少し図書、雑誌共に購入が減少している。図書は“開架冊数の七分の一以上の年間増加冊数の確保”が求められている。雑誌は、新しい情報提供の媒体であり、**300**種を揃えることが必要である。

分室は、高齢者も利用できることを**PR**し、一般書も含めて**3**万冊を揃えたい。

2.3.7 職員

この項目は**69.2%**で、今回も、館長は司書有資格者とする事、司書の比率を**70%**以上にすること、が求められている。文部科学省告示「基準」改訂版では、“司書資格を有するものを任命する”ことが望まれている。学校長が教育免許を有するものが当られているように司書資格を有する館長の配属が望まれる。『答申』では、司書職制度をつくることが述べられている。正規職員の司書率は前年度の**25%**から**37.5%**と改善されたが、引き続き、当面全国平均の**50%**を目途に引き上げたい。

2.3.8 経費

この項目は、0%という最低評価である。現在、図書館予算は一般会計の0.8%である。3%を配当している自治体もある。一般会計の1%以上とすることが望ましい。

2.3.9 施設

分室は、バリアフリー化（入り口の段差解消など）が望まれている。

2.4 まとめ

羽村市図書館は赤ちゃんから高齢者、障害者までに活発に利用されている。貸出冊数は前年度より増加した。優れたサービスの鍵を握るのは、図書館とは何かがわかっている熱意のある優れた司書の働きである。上述の意見を参考に、市民に愛される図書館として、優れたサービス提供する教育機関として、図書館運営の改善を更に図っていただきたい。

3 羽村市図書館（本館）の来館者調査 2012 年にみる現状と課題

羽村市図書館は、中央館図書館的機能を有する図書館本館について「羽村市図書館利用者アンケート 2012」（来館者調査）を 2 回実施した。

第 1 回は、平成 24 年 8 月 21 日（火）～26 日（日）に実施し、アンケート配布数 1,000、有効回答数 686 で、有効回答率 68.6%であった（以下、8 月調査という）。

第 2 回は、平成 24 年 11 月 6 日（火）～11 日（日）実施し、アンケート配布数 500、有効回答数 143、有効回答率 28.6%である（以下、11 月調査という）。

今回の来館者調査では、地域図書館的機能を持つ小作台図書室、児童図書館サービスに重点を置いた分室機能を有する加美分室、富士見平分室、川崎分室については、実施していない。

ここでは、上記来館者調査に基づき、調査結果とその評価・課題を述べる（羽村市図書館が集計したアンケート結果は、資料 8、9、10、11、12 を参照）。

3.1 羽村市図書館利用者アンケート 2012 ; 選択肢回答部分

利用者アンケート 2012 の選択肢回答部分の調査結果（資料 8、9）の概要と、必要な部分について評価・課題を述べる。

3.1.1 図書館利用の目的

今回の来館者調査では、主に図書館サービスの基本となる貸出サービス、情報サービス、集会・行事活動についての 9 項目に○を付ける形と、その他という項目に記述する形の回答を求めている。

8 月調査、11 月調査ともに、各項目に対する回答はほぼ同様の傾向を示している。ただし、8 月調査のみに「インターネット」(2%) が、11 月調査のみに「おはなし会・催し物」(1%) が表れている。

図書館の利用目的の中で、一番多いのは、図書館の資料・情報の提供の一番原初的なサービスである貸出サービス等の「貸出・返却・予約」約 7 割と、館内での閲覧や視聴である「本・雑誌・新聞の閲覧」(8 月 12%、11 月 15%、以下前者が 8 月、後者が 11 月である)と、「CD・DVD の視聴」(2%、3%) であり、両方を含める貸出・閲覧が利用目的の約 9 割近くになる。

また、貸出サービスと同様に基本的な図書館サービスである情報サービスは、「本・資料の相談」(0%、0%)、「インターネット」(0%、2%) と非常に僅かである。「調べ物」を目的とする人(4%、6%) がいるのに、司書による情報サービスである「本・資料の相談」が全く利用されていない。

基本的サービスの 1 つである集会・行事活動も調査当日に開催されていないと回答に表れてこないために、「おはなし会・催し物」は(0%、1%) と少ない結果になっている。

図書館閲覧室を学習室目的で使用する「自主学习」が僅かにある。

「その他」(2%) の内容として、子どもや孫の付き添い(2 件)、休憩のために(1 件)、涼みに(1 件)、傘の返却(1 件) が示された。

<評価・課題>

図書館の最も基本的な貸出サービスについては、市民に非常に良く認識されていることがわかる。しかし、基本的サービスの 1 つである情報サービス（レファレンスサービスなど）は、この調査でみる限りほとんど認識されていない。

情報サービス「本や資料への相談・調査サービス」は、司書としてのセラピスト的な役

割が必要なサービスである。フロアワークを充実させて質問しやすい機会を作るなどの工夫を行うと共に、質問相談には丁寧にその質問相談内容を聞き出し、適切な資料を探し出し手渡すことが大切である。特に口コミや広報等による PR を充分行っていくことも必要である。

また、集会・行事活動については、調査期間中に、おはなし会や講演会・講座が開催されているときには回答が予想されるが、開催がなければ必然的に回答されないことになる。11月調査時点で1%の数値がでてくるのは、その期間中の土曜日に講座が開催されていたことによる。

集会・行事活動については、今回行った“本日は、どのような用事で図書館にいられましたか”という質問設定では適切な回答がえられないことがわかった。今後利用者アンケートを実施する時には、“図書館でどのようなサービスを利用しますか”というような質問設定にする必要がある。

3.1.2 図書館利用の目的達成度

「満足」が58%、63%と多い。次が「やや満足」で32%、36%、「やや不満」が4%、5%、最も少ないのが「不満」の1%である。「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とすれば、平均値は3.54である。

<評価・課題>

「満足」と「やや満足」を併せると94~95%となり、満足度は高いといえよう。「不満」と「やや不満」を併せると5~6%あるので、心に留めておきたい。

不満の部分の把握・分析が必要であるが、この選択肢の項目では把握はできない。

3.1.3 開館時間・休館日

「満足」が63~71%と最も多い。次いで「やや満足」が22~25%、「やや不満」6~10%、「不満」は1~2%と最も少ない。「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とすれば、平均値は3.56である。

<評価・課題>

「満足」が63~71%と、このアンケートの項目の中では、最も多く満足度が高い。「やや満足」を併せると87~93%となり及第である。一方、「やや不満」と「不満」も併せて13~7%あり、その具体的な内容を把握し不満の解消を図りたいところである。

3.1.4 貸出（冊数・期間）、予約・リクエストの方法

「満足」が58~59%と多い。次いで「やや満足」33~34%、「やや不満」11~13%、「不満」2%の順である。

「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とすれば、平均値は3.44である。

<評価・課題>

及第である。ここでも、「やや不満」と「不満」とを併せると15%程度あることに、注意を払う必要がある。

項目の設定については、回答しやすいようにと考えて選択肢を少なく設定したが、それぞれ性質がやや異なるサービスである、貸出（冊数・期間）と予約・リクエストの方法を同じ項目としてまとめため、それぞれについての満足度の把握ができなくなってしまった。結果として別々に項目を分けた方がよいことが判明した。

3.1.5 館内での本の探しやすさ、レファレンスサービス（調べ物の手伝い）、受付の対応
「満足」が52~53%と最も多い。次いで「やや満足」が33~34%、「やや不満」が10~12%、「不満」が1~2%とである。「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とすれば、平均値は3.34である。

<評価・課題>

及第と言える。ただし、「やや不満」と「不満」とを併せると10%以上あるので、この点への考慮が必要である。

この項目も、排架と、情報サービスと、受付対応の3つの異なるサービスをまとめて質問しているため、利用者がどのサービスに対して力点を置いて回答したのかは不明で、その点での評価ができない結果となった。

3.1.6 施設（閲覧室の席数）、資料（質・量）

「満足」が45~49%である。次いで「やや満足」が33%、「やや不満」11~13%、「不満」は2~4%と少ない。

「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とすれば、平均値は3.14である。

<評価・課題>

「やや満足」を含めると及第といえるが、他の項目比べると「満足」が50%以下と少ない。「やや不満」と「不満」とを併せると15%以上あり、このアンケートの項目の中では、最も不満足度が高い。最も注意を払うべき項目である。

この項目も、席数と資料という異なるファクターを結びつけてあるが、本来ならば、2つの項目に分けた方がよかったといえる。

3.1.7 総合的な施設の利用のしやすさ

「満足」が55~60%と多い。次いで「やや満足」が30~37%、「やや不満」7~9%、「不満」は1%と少ない。

「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とすれば、平均値は3.48である。

<評価・課題>

及第といえよう。ただし、「やや不満」と「不満」とを併せると10%程度となることに注意をしたい。

3.1.8 利用者の属性

(1) 年代

【8月調査】8月は、40代（16%）、60代（19%）の利用が比較的多い。ヤングアダルト層（中学生、高校生、10代）も9%の値を示している。この調査が夏休み期間に行われたためのものである。

8月の集計値は、幼児0%、小学生10%、中学生5%、高校生4%、10代（高校生以下を除く）2%、20代10%、30代13%、40代16%、50代12%、60代19%、70代以上9%である。

【11月調査】11月は、30代（18%）、40代（18%）、60代（18%）、70代以上（15%）の利用が比較的多い。ヤングアダルト層の利用は8月の半分以下（65%減少）であるが、

それ以外は各年代が概ね均等（10~18%）に利用している。

11月の集計値は、幼児1%、小学生10%、中学生2%、高校生1%、10代（高校生以下を除く）1%、20代6%、30代18%、40代18%、50代10%、60代18%、70代以上15%である。

<分析>

各年代が概ね均等（10~20%）に利用している。夏休みに中学生、高校生の利用が多くなり、長期休暇でない時期はヤングアダール層の利用が減少するという季節的な利用実態が明らかになった。

(2) 性別

【8月調査】8月の集計では、女性（55%）が男性（45%）やや多い。

【11月調査】11月の集計では、女性（70%）が男性（30%）と2倍以上となっている。

<分析>

女性の利用（55~70%）が男性の利用（45~30%）より1.75倍多い。

(3) 職業

【8月調査】8月の集計では、主婦24%、会社員23%、学生22%、無職18%、その他10%、公務員3%である。

【11月調査】11月の集計では、主婦33%、会社員24%、学生16%、無職16%、その他9%、公務員2%である。

<分析>

主婦、会社員、学生、無職と幅広い利用がなされている。その中で、学生の割合が11月に比べ8月の方がやや多く、11月は主婦の利用が全体の3分の1と一番多い。

(4) 住所

① 市内

調査結果は、資料8、9を参照してください。

<分析>

当然であるが、市内の利用者が7割以上と大部分を占めている。

図書館本館に近いほど多く、遠いほど少ない。図書館本館から半径700m圏内が一番多い（緑ヶ丘、五ノ神）。次いで半径700m圏域と隣接地にまたがる区域が多い（神明台、栄町、富士見平、羽東、羽中）。半径700m~1km圏内は少ない（羽加美）。半径1km圏内を外れる区域は大変少ない（羽西、双葉町、川崎、玉川、羽）。

小作台は、例外的で、半径1km圏内を外れるが多い。これは、小作台図書室の活動が利用者の本館に対する利用ニーズを引き出しているためといえよう。

② 市外

青梅市、福生市、瑞穂町、あきる野市、武蔵村山市、八王子市、中野区の5市・1町・1区の名が挙げられている。市外のうち43%が未記入である。

<分析>

当然であるが、隣接市の利用が多い。

③ その他

「未記入」が10%以上ある。

(5) 図書館の利用頻度

「月に1〜3回」が最も多く56~70%、次いで、「月4〜9回」が19~20%、「年に数回」が6~13%、「月10回以上」が3~8%、「ほぼ毎日」2~3%である。「月1〜3回」と「月4〜9回」の利用を併せると、8割以上(82.8%)となる。

ちなみに、「ほぼ毎日」を5とし、「月10回以上」を4、「月4〜9回」を3、「月に1〜3回」を2、「年に数回」を1とすると、平均値は2.29となる。

<分析>

平均的な利用者は、月に1〜3回より少し多い頻度(平均すれば、月に2回強)で図書館を訪れているようである。

3.2 羽村市図書館利用者アンケート 2012 : 記述回答部分

3.2.1 記述回答Ⅰ 良いところ

よいところとして、一番多く挙げられているのは職員の対応で、次いで、施設・環境について(とてもきれい、ゆったりとしている、屋上のハーブガーデン)、さらに、図書の数、本の探しやすさ、予約のしやすさなどが挙げられている。児童サービスについては、子ども室が1階のあること・赤ちゃんや子ども向けおはなし会の開催などが挙げられている(資料10参照)。

3.2.2 記述回答Ⅱ 悪いところ

悪いところとして、一番多いのは、職員(受付、コピー機の説明などの声大きい他)の対応、利用者のマナー(寝ている、携帯の使用)で、次いで、資料の古さ(古本が多い・CDが古い・新刊が少ない)、続いて、本が探し難い、本がきたない、本が一杯で出し入れし難いが挙げられている(資料11参照)。

<評価・課題>

全般的にみて、要望・意見と考えられるものがほとんどあり、記述回答Ⅲの意見・要望とあわせて、改善へ向けての対応が必要である。

3.2.3 記述回答Ⅲ 意見・要望

ご意見・ご要望の記述アンケートでは、105件の声が寄せられた。一番多いのは、(1)蔵書(収集選択)の改善に関するもので44件(41.9%)、次いで、(2)貸出・予約・検索についての改善23件(41.9%)、続いて、(3)本の配置についての改善19件(18.1%)、(4)施設・設備についての改善16件(15.2%)、(5)その他3件である。

(1) 蔵書(収集選択)の改善に関するもの(44件)

蔵書(収集選択)への意見・要望44件のうち、一番多いのは、新刊書の収集であり、①あらゆるジャンル(8件)、②リクエストが多い【本】(6件)、③もっと興味のある本・ベストセラー(3件)と合計15件が寄せられており、この項の34%を占めている。

次いで、視聴覚資料のDVD(5件)、図書のうち専門書(5件)、逐次刊行物である雑誌(4件)の増加を望む声があがっている。

他に、まんが(3件)、単行本(時代物)(2件)、語学(英語)の本(1件)、外国人作家(スペイン、フランス、ドイツの作家)の本(1件)、電子書籍(1件)、スポーツ新聞(1件)が挙げられている。

<評価・課題>

新刊書の購入要望に十分に対応して行くことが最も必要である。また、DVD や専門書、雑誌数の増加要望にも応えて行きたい。

(2) 貸出・予約・検索についての改善 (23 件)

この項では、「もう少し、カウンターに行きやすい雰囲気にしてください。(7 件)」が全 23 件の内 30%ある。次に、返却図書の排架で、合計 3 件:「青梅の図書館は自分で本を返却しなくてよいので楽だし、乱雑になっていない。(2 件)」、「返却はカウンター預かりにして館員の方が配架した方がいい。(1 件)」の 13%である。

<評価・課題>

要望で多いのは、職員の対応である。カウンターの対応、返却図書の排架等について見直しを行い、改善を図ることが求められているようである。

(3) 本の配置についての改善 (19 件)

「本棚の分類番号等をもっとわかり易く (7 件)」全 19 件の 37%、と「絵本等の配置をわかりやすく、取出し易く (6 件)」32%が多く寄せられた。また、「新刊書は、一度貸し出しされても二ヶ月は新刊コーナーに置いて (4 件)」21%ほかも挙げられている。

<評価・課題>

ある分野(分類)の図書の排架場所は、貸出の状況や新刊書の増加、汚破損図書の引き抜きなどによって、必然的に書架上の分類の見出しとずれが生じるが、排架場所と見出しがなるべく一致するように対応するなど、利用者に使いやすい書架にしていく工夫が必要のようである。また、ある場所の図書の利用頻度の変化によって書架上に本があふれるような状況もでてくるので、きめ細かな対応が欠かせないであろう。

(4) 施設・設備についての改善 (16 件)

「図書館内にもっとテーブルやイスを (5 件)」、「飲食コーナーを設けて欲しい。(3 件)」、「HP[ホームページ]をスマートフォンにも対応して欲しい(3 件)」などが挙げられている。

(5) その他 (3 件)

利用者のマナーへの図書館員の対応や、休館日、カラーコピー機の設置に関するものである。

(6) 意見・要望からみられる課題

多い件数の項目を個別にみると、次のようになる。

- ①「新聞を独り占めに読んでいたり、寝ていたりしている人等を注意してほしい。(9 件、8.6%)」、
- ②「あらゆるジャンルの新刊を入れてほしい。(8 件、7.6%)」、
- ③「本棚の分類番号等をもっとわかり易くしてもらいたい。(7 件、6.7%)」、
- ④「もう少し、カウンターに行きやすい雰囲気にしてください。(7 件、6.7%)」、
- ⑤「絵本等の配置がわかりづらく、取り出しにくい。(6 件、5.7%)」、
- ⑥「リクエストが多い物をもう少し購入して欲しい。(6 件、5.7%)」、
- ⑦「図書館内にもっとテーブルやイスがあると良い (5 件、4.8%)」、
- ⑧「休館日を少なくしてほしい。(5 件、4.8%)」、
- ⑨「DVD をふやしてほしい (5 件、4.8%)」、

⑩「専門書をもう少し増やして欲しい。(5件、4.8%)」

これらをみると、資料への要求が多い。その中でも、新刊書への要求 14 件 (②と⑥) と、資料の多様化への要求 10 件 (⑨と⑩) が大きい。職員の対応も 16 件 (①と④) と多い。そして、分類や排架への要求 13 件 (③と⑤) も多い。これらへの対応が最も求められているといえよう。

3.2.4 記述回答Ⅲ意見・要望への図書館からの回答

上述の記述回答Ⅲ意見・要望について、図書館からの回答が行われている。(資料 12 参照)。

今後この回答にそって市民への図書館サービスを実施し、さらなる図書館サービスの向上に役立てていただきたい。

3.3 まとめ

3.3.1 羽村市図書館利用者アンケート 2012 について

この調査結果から判明したことを述べる。

- (1) 図書館の利用目的から、図書館の最も基本的な貸出サービスについては、市民に非常に良く認識されていることが判明した。図書館が市民の知的自由を保障するために資料や情報を無料で提供する社会的機関であることが、特に貸出サービスおよび予約サービスを通して羽村市民に浸透している。さらに利用率を向上させるためには、新刊書などの購入希望に応じて資料費の増額がどうしても必要となる。
- (2) 館内閲覧や視聴覚資料の視聴など居場所としての図書館機能についても認識がされている。その利用率を挙げるためには新しい DVD や幅広い分野の DVD を購入し、増加させるための視聴覚資料費の増加が欠かせない。
- (3) 貸出サービスと車の両輪をなすと言われている情報サービス (レファレンスサービス) については、毎年増加し 1 万件以上の利用実態があるのに、このアンケートの結果としては表れてこなかった。回答項目の「本や資料について相談にきた」と結びつかなかったのであろう。多摩地域の図書館では、レファレンスサービスは貸出サービスとともに積極的に取り組まれてきているサービスである。司書としてのセラピスト的な役割としての力量をつけるとともに、フロアワークを充実させて質問しやすい機会を作るなどの工夫を行うことや、質問相談には丁寧にその質問や相談の内容を聞き出し、適切な資料を探し出し手渡ししていきたい。特に口コミや広報等による PR を充分行っていくことも必要である。そのことが、図書館の更なる利用率を上げることに繋がる。
- (4) 図書館サービスについては、総じて満足度が高かったと言える。ただし、不満ややや不満を併せると 5-20%あり、この点を、特に施設・資料や、貸出・予約の方法について、常に頭にいれて改善を図り、さらに満足度の高い図書館サービスを提供して行くことが、図書館の利用率をさらに高めることとなる。
- (5) 利用者の住所の調査結果からは、図書館本館から 700m 圏付近内の利用が圧倒的に多く (54%、46%)、1 km 圏外(11%、10%) と少ない。700m 圏付近内の利用者は 1 km 圏外の利用者の 5 倍となっていて、その間の格差が著しい。現在の図書館サービス・ポイント (拠点) でカバーしていない 3 割の市域をカバーするための何らかの方策 (サービス・ポイントの新設など) を行うことで、図書館の利用率を向上させることができよう。

- (6) 図書館の利用頻度からは、平均的な利用者は、平均すれば、月に2回強の頻度、それは言い換えれば、2週間に1度の頻度で図書館を訪れている。このことからすると、貸出期間の2週間は程よい貸出期間といえよう。
- (7) 記述式の回答結果からは、「良いところ」、「悪いところ」共に、職員の対応が一番多く挙げられており、「ご意見・ご要望」でも職員の対応が多く挙げられている。好評と不評が相半ばする結果となっている。現在、すでに市民から満足度の高い図書館として認識されているので、職員の対応をよくすれば、更に図書館の利用率の向上を押し進めて行く原動力となろう。
- (8) 「ご意見・ご要望」の回答結果からは、資料への要望が多い。新刊書への要望と、多様な資料への要望である。この市民の要望には資料購入費（図書費、視聴覚資料費、雑誌費）を増やすことで応えれば、図書館の利用率を押し上げる原動力となろう。

3.3.2 今回の図書館利用者アンケートと今後について

8月調査、11月調査ともに、開館している火曜日から日曜日の6日間に亘って行われたので、曜日による偏りは解消された調査となっている点は評価できる。

回答率が8月調査は68.6%であるが、11月調査は28.6%と3割以下の回答であり、11月調査の信憑性はやや低くなるであろう。ただ、両方ともほぼ同じような調査結果になっているのでさほど問題にするほどではないようである。

今回はじめての図書館利用者アンケートを実施するために、設問の設定について検討して作成したが、いくつかの項目については必ずしも適当でないものもあったことが結果として得られた。今後図書館利用者アンケートを実施するときは、今回の結果から得られたものを生かしていただきたい。

4 今後の図書館の運営について

以上のように、(1) 羽村市図書館の実績からみる運営状況、(2) 図書館サービスへの自己評価、(3) 羽村市図書館（本館）の来館者調査 2012 年結果から、「図書館の運営状況について」の現状と課題を述べてきたことに基づき、図書館の利用率向上を目指した図書館サービスの提供にあたって、次のようなことに重点をおいて図書館運営を図るように提言をする。

- (1) 利用者の住所の調査結果からは、図書館本館から **700m** 圏付近内の利用が圧倒的に多く、**1 km** 圏外と少ない。その間の格差が著しい。現在の図書館サービス・ポイント（拠点）でカバーしていない **3 割**の市域をカバーするための何らかの方策（サービス・ポイントの新設など）を行うことで、図書館の利用率を向上させることができよう。
- (2) 1 世帯当り家族の誰か 1 人以上が図書館利用登録者になれるように、全域サービス網づくりを進めてください。
- (3) 市民の新刊書への要望と、幅広い分野の **DVD** や専門書、雑誌などの多様な資料への要望がある。この市民の要望には資料購入費（図書費、視聴覚資料費、雑誌費）を増やすことで応えれば、図書館の利用率を押し上げる原動力となろう。財政逼迫の折ではあるが、図書は開架冊数の七分の一以上の年間増加冊数を確保してください。当面市民 1 人当り資料費を **20** 数円程度の引き上げをしてください。
- (4) 図書館予算は、一般会計の **1%**以上としてください。
- (5) 雑誌購入タイトル数は、平成 **25** 年度に増えましたが、**300** タイトルを目標にして増やしてください。
- (6) 平成 **24** 年度司書が 1 人増えて専任職員の司書率は **37.5%**と改善されたが、当面全国平均の **50%**までに引き上げ、専門性を高め、職員の対応をよくすれば、更に図書館の利用率の向上を押し進めて行く原動力となろう。
- (7) 館長として、図書館サービスその他の図書館の運営及び行政に必要な知識・経験とともに、司書となる資格を有する者を任命してください。
- (8) 図書館基本計画を策定してください。
- (9) 図書館協議会については、現在の 3 回の定例会を 4 回へと改善してください。6 回以上の開催が望ましい。また、利用者懇談会も実施してください。
- (10) 市民への資料案内を充実させるため、フロアワークを積極的に実施してください。フロアワークを充実させて質問しやすい機会を作るなどの工夫を行うことや、質問相談には丁寧にその質問や相談の内容を聞き出し、適切な資料を探し出し手渡ししていきたい。特に口コミや広報等による **PR** を充分行っていくことも必要である。そのことが、図書館の更なる利用率を上げることに繋がる。
- (11) 児童サービスでは、一人一人の子どもへの対応を更に進め、楽しい本の世界、読書の世界へ誘うことができるように、フロアワークを強化してください。
- (12) ヤングアダルトサービスは、専任の司書の配置等も考慮し、ヤングアダルト司書であることがわかるように図書館側からアピールして、中学生、高校生の図書館利用の充実、促進を図ってください。
- (13) 手話・点字のできる司書の養成や、音訳・点訳サービス、来館しにくい障害者への来館の手助け、入院患者への配本サービス、在住外国人向けの利用案内・申込書の用意や、図書館サービスの広報、宅配サービスの拡充などを早急に取り組んでください。

- (14) 分室は、高齢者も利用できることを **PR** し、分室では児童書だけでなく一般書も置いて戴きたいという要望もあり、検討してください。将来、一般書も含めて3万冊を揃えてください。
- (15) 学校図書館とのシステム構築、小学生の図書館訪問などへの取組みをしてください。

おわりに

羽村市図書館は、現在、市民1人当たり **2,801** 円の税金支出（図書館経費）で、赤ちゃんから高齢者までの市民1人あたり年間 **7,432** 円以上の還元をもたらしている。市民1人について税金支出（図書館経費）の **2.65** 倍の還元をもたらす活動をしている。

また、図書館利用者アンケートの結果からわかるように、市民からの図書館サービスに対する満足度は大変高い。

今後は、上述の提言を取り入れて、更に市民に親しまれ、利用がしやすい図書館として発展させていただきたい。

<資料>

- 1：羽村市図書館協議会委員名簿
- 2：羽村市図書館協議会審議経過
- 3：「図書館係」[図書館統計表] p.509-514.
- 4：図書館主要データのまとめ（平成13年～平成23年度）
- 5：図書館による自己評価：図書館評価のためのチェックリスト改訂版
- 6：平成24年度羽村市図書館が実施した図書館評価に対する意見書
- 7：羽村市図書館利用者アンケート（原票）
- 8：羽村市図書館利用者アンケート2012集計結果[8月実施分]
- 9：羽村市図書館利用者アンケート2012集計結果[11月実施分]
- 10：羽村市図書館利用者アンケート2012 8・11月集計結果市内外別良いところ
- 11：羽村市図書館利用者アンケート2012 8・11月集計結果市内外別悪いところ
- 12：羽村市図書館利用者アンケート2012 8・11月ご意見・ご要望への回答

平成23～25年度 羽村市図書館協議会委員名簿

区分	氏名	備考
学校教育 関係者	海東 朝美	羽村市公立小・中学校長会推薦(小作台小学校校長)
	愛甲 慎二	羽村市公立小・中学校長会推薦(羽村第二中学校校長)
社会教育 関係者	関澤 和代	元社会教育委員
	堀 茂子	元社会教育委員
家庭教育 関係者	水嶋 恵子	羽村市立小・中学校 PTA 連合会推薦(羽村第一中学校 PTA 副会長)
	山本 一代	NPO 法人子育て支援総合施設こころ理事長 (チューリップ保育所代表)
学識経験者	塚原 博	実践女子大学図書館学課程主任教授
	野元 弘幸	首都大学東京都市教養学部准教授
市民公募 委員	藤沢 穰	
	石川 千寿	

【任期】平成23年7月1日～平成25年6月30日

付2：羽村市図書館協議会審議経過

(1) 図書館協議会

開催数	開催日時	内 容
第1回	平成23年7月22日(金) 午前10時～11時30分	会長・副会長の選出 諮問「図書館の運営の状況について」 図書館の概要について 今後の日程について
第2回	平成23年12月16日(金) 午前10時～正午	第1回羽村市図書館協議会会議録確認 第二次羽村市子ども読書活動推進活動(案)について 図書館の運営の状況に関する評価について
第3回	平成24年7月19日(木) 午後2時～4時	第2回羽村市図書館協議会会議録確認 図書館の運営の状況に関する評価について 利用者アンケートについて
第4回	平成24年12月18日(火) 午前10時～正午	第3回羽村市図書館協議会会議録確認 図書館の運営の状況について 利用者アンケートについて
第5回	平成25年3月14日(木) 午前10時～正午	第4回羽村市図書館協議会会議録確認 利用者アンケート調査について 平成24年羽村市図書館評価について
第6回	平成25年5月14日(火) 午後2時～4時	第5回羽村市図書館協議会会議録確認 答申草案について

10.5.4. 図書館の運営に要する経費

10.5.4. 分室・図書室の運営に要する経費

1 蔵書構成(全館)

(1) 図書

(単位:冊、%)

部門	区分	平成23年度登録数			平成23年度 除籍数	平成23年度 蔵書数	蔵書比率
		購入	寄贈・その他	計			
0	総記	170	49	219	9	9,706	2.7
1	哲学	190	8	198	22	10,169	2.8
2	歴史・地理	496	12	508	164	22,701	6.2
3	社会科学	967	245	1,212	46	38,733	10.6
4	自然科学	522	12	534	46	17,412	4.8
5	工学	808	223	1,031	150	19,006	5.2
6	産業	222	7	229	22	7,152	2.0
7	芸術	416	10	426	84	22,874	6.3
8	語学	100	3	103	8	4,675	1.3
9	文学	1,508	96	1,604	240	81,922	22.5
	地域資料	36	665	701	6	17,814	4.9
	YA	367	10	377	84	10,807	3.0
	児童	2,297	16	2,313	409	101,525	28.0
	計	8,099	1,356	9,455	1,290	364,496	100.0
	うち視覚障害者用大活字本	140	0	140	1	2,335	——

(2) 視聴覚資料

区分	購入	寄贈・その他	計	除籍数	変更数	蔵書数
C D	51枚	67枚	118枚	55枚	0枚	10,321枚
カセットテープ	0巻	115巻	115巻	14巻	0巻	1,061巻
ビデオ	0巻	80巻	80巻	44巻	11巻	4,222巻
D V D	81巻	54巻	135巻	4巻	1巻	1,045巻
C D - R O M	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	241枚
計	132	316	448	117	12	16,890

* 変更数とは、個別で登録していたCD・ビデオをセットにして再登録した数を示したものである。

(3) 視覚障害者用資料

区分	購入	寄贈・その他	計	除籍数	変更数	蔵書数
カセットテープ	0巻	0巻	0巻	0巻	0巻	2,427巻
デイジー	0枚	0枚	0枚	0枚	0枚	36枚
計	0	0	0	0	0	2,463

* 変更数とは、視覚障害者用カセットテープから一般用へ転用した数を示したものである。

2 雑誌・新聞蔵書構成(全館)

(1) 雑誌タイトル数

(単位:誌)

区分	週刊誌	月刊誌	隔月刊誌	月2・3刊誌	季刊誌・不定期	計
購入	15	115	20	8	25	183
寄贈・その他	0	6	0	0	1	7
計	15	121	20	8	26	190

(2) 新聞タイトル数

(単位：紙)

区分	日刊紙	週刊紙	月刊紙	週2・3刊紙	計
購入	10	3	1	1	15
寄贈・その他	3	4	2(月3刊紙)	0	9
計	13	7	3	1	24

3 登録者数(全館)

(1) 登録者総数(全館)

(平24. 3.31現在)

登録者数(在住・在勤・在学)					広域利用者	総数
一般	幼児・児童	視覚障害者	計	登録率		
18,034人	2,769人	7人	20,810人	36.2%	8,520人	29,330人

(2) 地区別・年齢別登録者数(全館)

(平24. 3.31現在、単位：人)

住所	年齢						合計
	0～6	7～12	13～22	23～40	41～60	61歳以上	
市外・広域	106	490	1168	2813	2942	1338	8,857
横田基地内	2	1	0	7	8	0	18
小作台	41	236	300	500	452	281	1,810
栄町	54	188	296	502	436	382	1,858
緑ヶ丘	74	314	513	846	720	666	3,133
五ノ神	50	176	287	438	437	287	1,675
羽	2	6	27	35	38	49	157
富士見平	43	147	243	422	378	418	1,651
羽東	38	118	191	344	336	263	1,290
羽中	36	164	231	356	328	244	1,359
羽加美	47	180	290	378	361	270	1,526
羽西	30	114	135	253	219	174	925
川崎	18	83	122	192	169	108	692
双葉町	35	76	119	243	187	203	863
神明台	100	351	552	877	787	560	3,227
玉川	12	32	37	88	69	42	280
計	688	2,676	4,511	8,294	7,867	5,285	29,321
視覚障害者	0	0	0	0	3	6	9
合計	688	2,676	4,511	8,294	7,870	5,291	29,330

(3) 入館者数(本館)

	期間	日数	入館者数
総入館者数	平23.4.1～平24.3.31	295日	241,766人
夜間開館入館者数	17:00～20:00	295日	48,471人
早朝開館入館者数	平23.7.20～8.31	36日	2,393人

4 貸出数

(1) 月別貸出数(全館)

区分 年月	一般図書	児童図書	視聴覚資料 (CD,CT,VT,DVD)	計	一日平均 貸出数	開館日数
平23.4	25,944冊	7,372冊	3,538件	36,854件	1,474件	25日
5	24,748	6,942	3,442	35,132	1,405	25
6	23,689	7,718	3,309	34,716	1,389	25
7	24,659	9,539	3,193	37,391	1,385	27
8	24,797	11,093	3,380	39,270	1,571	25
9	22,531	7,798	3,172	33,501	1,289	26
10	24,024	7,998	3,324	35,346	1,359	26
11	22,191	7,813	3,104	33,108	1,324	25
12	21,196	6,338	2,719	30,253	1,315	23
24. 1	19,781	6,243	2,527	28,551	1,586	18
2	21,178	6,499	2,839	30,516	1,272	24
3	23,392	6,801	3,130	33,323	1,282	26
計	278,130	92,154	37,677	407,961	1,383	295
団体貸出	49	4,098	—	4,147	—	—
視覚障害	—	—	102	102	—	—

(2) 館別貸出数

	一般図書	児童図書	視聴覚	計	視覚障害者	団体
本館	263,674冊	75,514冊	37,483件	376,671件	102件	4,147冊
加美分室	560	2,018	14	2,592	開室 毎週火水金土曜日 午後1時～午後5時	
富士見平分室	1,427	2,573	57	4,057		
川崎分室	473	2,836	23	3,332		
小作台図書室	11,996	9,213	100	21,309	月・祝日を除く毎日開室 平日：午後1時～午後5時 日曜：午前10時～午後5時 夏休み期間：午前10時～ 午後5時	
計	278,130	92,154	37,677	407,961	102	4,147

(3) 団体貸出数

団体数	貸出図書	備考
14団体	4,147冊	市内の保育園、小学校、中学校等への貸出

(4) 視覚障害者貸出数(カセットテープ)

登録者数	本館用	他館から借用	計	備考
9人	102本	0本	102本	1人1回3本まで

5 予約処理件数

	一般図書	児童図書	視聴覚資料	計
本館	18,541冊	1,267冊	535件	20,343件
加美分室	452	160	8	620
富士見平分室	870	597	56	1,523
川崎分室	349	207	18	574
小作台図書室	2,378	474	71	2,923
計	22,590	2,705	688	25,983

6 西多摩地区広域利用

市 町 村 名	登 録 者 数	貸 出 冊 数
青 梅 市	333人	31,527冊
福 生 市	159	10,862
あきる野市	36	2,837
瑞 穂 町	185	16,849
日 の 出 町	13	1,152
檜 原 村	2	153
奥多摩町	1	285
計	729	63,665

7 実施事業

種別	区分	実施日	内 容	参加者等
児 童 文 学 会 講 演 会		平 23.12.24	絵本画家:飯野 和好氏による「おっと、痛快 絵本の読み語りの旅でい 羽村の宿」の講演会を行った。	134 人
保 護 者 向 け 読 書 講 座		平 24.1.21 平24.2.15	「親子で図書館見学」は蔵書点検期間中に蔵書点検や図書館の仕事を体験するとともに、施設内を見学した。 「図書館でブックスタート」では、保健センターの検診後に参加できなかった親子を対象にブックスタートの説明を行った。	2 組 0 組
ボランティア 養 成 講 座		平 24.3.6 平 24.3.13	学校おはなし会などを実施する際のノウハウなどを習得するなど、おはなし会に協力していただくボランティアの養成講座を実施した。講師に小関知子氏を迎え「学校おはなし会で絵本を読んでもみよう！」をテーマに行った。	29 人 25 人
本館おはなし会		毎月第2(土) (幼児向け) 毎月第3(土) (小学生向け)	幼児から小学校低学年を対象に絵本の読み聞かせ、大型紙芝居、パネルシアター、ストーリーテリング、ブックトーク(本の紹介)等、ボランティアの参加を得て実施した。	12回 251人 フェスティバル 1回 66人 12回 169人
分室・図書室 お は な し 会		平 23.4.27 ~24.3.16	絵本の読み聞かせを通して本の普及活動を行った。	12回 (142人)
宅配サービス		平 23.4.5 ~24.3.30	高齢者や身体に障害がある方など来館できない市民の自宅へ、ボランティアによる資料の配送を行った。	30回 (30人)
ブ ッ ク ス タ ー ト		平 23.4.19 ~24.3.27	毎月第3火曜日に保健センターで、検診に訪れた親子にブックスタートを説明し、読み聞かせを行った。	12回 (83組)
館 内 展 示		平 23.4.20 ~24.3.31	毎回設けたテーマに沿った図書の展示を行い市民の読書啓発を行った。	10回
ハ ー プ 観 賞 会		平 23.7.2	屋上緑化の為にハープを栽培し、観賞会やハープティのサービスやラベンダースティック作成無料講習会を行った。	76人
資料の発行				
平成23年度 図書館利用の こ 案 内		4月	市内小・中学校教諭が児童・生徒に図書館の利用を指導するための資料として発行した。 市内小・中学校全教諭に配布	300部
め ざ せ ! 超図書館博士		4月	小学生向けの図書館見学資料として発行した。	400部

児童図書紹介パンフ「みどりのまど」	7、12月	小学生向けの本の紹介リスト	8,000部
図書紹介パンフ「よんでよんで」の発行	3月	乳児(0-2歳)及び幼児(3-6歳)向けの絵本のリストをそれぞれ改訂、発行した。	乳児 500部 幼児1,500部
新着資料案内の発行	月1回	新着図書の案内の発行。館内、市役所等で配布した。	960部
雑誌・新聞目録の発行	年1回	継続購入している雑誌・新聞の目録(冊子)を発行した。	200部
学校向け事業			
学校おはなし会	平23.6.9 ~24.2.8	低学年を対象に読み聞かせやブックトークをボランティアの協力を得て行った。	6校(19回)
図書館見学	平23.6.21 ~23.11.18	小学校低学年のクラスを対象。実際の図書館の内部の様子等を見学する機会を設けた。	5校(5回)
職場体験	平23.5.24 ~11.11	市内の中学校3校の生徒が、図書館業務を実習・体験した。	3校(3回)

8 ボランティアの参加

事業名	区分	実施日	ボランティアグループ名	参加者延べ数
配架・整理作業		平23.4.1 ~24.3.30	図書館ボランティア「本棚」	53回 574人
宅配サービス		平23.4.5 ~24.3.30	図書館ボランティア「本棚」	30回 30人
本館おはなし会		毎月第2・3土曜日	ボランティアサークル 「おはなしいっぱいねずみくん」 「木いちご」「えほんの樹」	24回 60人
赤ちゃん向けおはなし会		平23.4.20 ~24.1.11	ボランティアサークル 「おはなしぼけっと」	4回 12人
学校おはなし会		平23.6.9 ~24.2.8	ボランティアサークル 「おはなしいっぱいねずみくん」 「木いちご」 「おはなしぼけっと」 「えほんの樹」	6校(19回) 44人
ハーブ観賞会		平23.7.2	ボランティアサークル 「ハーブはむら」	1回 9人

9 個人ボランティアの参加

種別	内容	参加者延べ数
新聞切り抜き	羽村に関する記事等の切り抜き	15回 15人
配架・書架整理	図書の配架・書架整理	0回 0人

1 0 図書館協議会

図書館法第14条第1項の規定に基づき、教育委員会の付属機関として、学識経験者、市民公募委員など委員10人で構成されている。平成23年度は、平成21年度に教育委員会から諮問された「今後の図書館サービスのあり方について」を答申した。

さらに、平成23年度新たに教育委員会から諮問された「図書館の運営の状況について」、2回の協議会を開催した。

図書館協議会委員

(平成24年3月31日現在)

職名	氏名	任期	職名	氏名	任期
会長	塚原 博	平23.7.1~25.6.30	委員	堀 茂子	平23.7.1~25.6.30
副会長	野元 弘幸	〃	〃	水嶋 恵子	〃
委員	海東 朝美	〃	〃	山本 一代	〃
〃	愛甲 慎二	〃	〃	藤澤 穰	〃
〃	関澤 和代	〃	〃	石川 千寿	〃

1 1 第二次羽村市子ども読書活動推進計画の策定

平成17年3月に「羽村市子ども読書活動推進計画」を策定し、平成17年度から21年度までの5カ年にわたって、推進事業を展開し、平成22年度に現計画の基本的な理念を引き継ぎ、計画期間を平成22年度から平成23年度までの2年間とする改訂版を策定した。

今年度は、平成24年度から28年度までの5年間について従前の計画での取組の現状と課題を精査し、新たな事業を加えて「第二次羽村市子ども読書活動推進計画」を平成24年3月に策定した。

1 2 図書館の運営の状況に関する評価の実施

日本図書館協会が作成した「図書館評価のためのチェックリスト」により内部評価を実施し、その後、第三者の視点から図書館協議会の意見をいただき、運営評価として公表した。

付4 図書館主要データのまとめ (H12年～H23年度)

※現図書館開館 平成13年3月4日(平成12年度3月)

H19.11.6作成

1 蔵書数

(単位:冊・点)	12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比
一般書	190,615		193,912	101.7%	198,624	102.4%	203,702	102.6%	212,678	104.4%	217,427	102.2%	223,199	102.7%	228,605	102.4%	234,280	102.5%	240,167	102.5%	246,199	102.5%	252,164	102.4%
児童・YA	78,225		85,886	109.8%	88,326	102.8%	90,886	102.9%	95,445	105.5%	96,863	101.5%	98,691	101.9%	102,260	103.6%	105,113	102.8%	107,652	102.4%	110,131	102.3%	112,332	102.0%
視聴覚資料	13,185		14,400	109.2%	15,355	106.6%	13,791	104.5%	14,344	104.0%	18,113	126.3%	18,721	103.4%	19,085	101.9%	19,442	101.9%	19,520	100.4%	19,010	97.4%	16,890	88.8%
総計	282,025		294,198	104.3%	302,305	102.8%	308,379	102.8%	322,467	104.6%	332,403	102.8%	340,611	102.5%	349,950	102.7%	358,835	102.5%	367,339	102.4%	375,340	102.2%	381,386	101.6%

2 登録者現況

(単位:人)	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
一般	15,402	19,207	21,535	18,137	17,911	18,809	20,858	15,274	14,979	16,774	16,472	18,034
児童・幼児	3,621	3,878	3,962	4,129	2,775	3,139	3,674	2,882	2,786	2,882	2,745	2,764
視覚障害者	14	17	17	17	18	18	18	20	18	12	12	7
市民登録率	33.6%	38.7%	41.5%	38.9%	36.3%	38.5%	42.8%	31.7%	30.9%	34.1%	33.4%	36.2%
広域			2,361	4,410	5,990	6,686	8,211	7,937	7,524	8,382	7,786	8,520
登録者総数	19,037	23,102	27,875	26,693	26,694	28,652	32,761	26,113	25,304	28,050	27,015	29,330

※平成12年度については新図書館移転に伴い、平成11年1月1日以降利用のない登録者を削除した。

3 貸出件数(全館)

(単位:件)	12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比
一般書	183,398		316,905	172.8%	341,159	107.7%	362,626	106.3%	353,723	97.6%	338,168	95.6%	319,765	94.6%	310,411	97.1%	302,074	97.3%	302,072	100.0%	274,044	90.7%	278,130	101.5%
児童書	80,559		114,645	142.3%	118,639	103.5%	119,798	101.0%	111,769	93.3%	106,060	94.9%	107,191	101.1%	101,718	94.9%	100,518	98.8%	98,333	97.8%	92,070	93.6%	92,154	100.1%
視聴覚資料(CD・カセットテープ)	20,223		51,707	255.7%	53,026	102.6%	53,526	100.9%	51,457	96.1%	47,179	91.7%	42,788	90.7%	46,890	109.6%	42,483	90.6%	39,120	92.1%	37,696	96.4%	37,677	99.9%
総数	284,180		483,257	170.1%	512,824	106.1%	532,962	103.9%	516,949	97.0%	491,407	95.1%	469,744	95.6%	459,019	97.7%	445,075	97.0%	439,525	98.8%	402,810	91.6%	407,961	101.3%
内広域利用					33,735		76,333(14.2%)		83,711(16.2%)		83,475(17.0%)		82,531(17.6%)		94,736(20.6%)									

※平成13年1月4日から3月3日まで新館移転のため本館休館。(平成13年2月11日から3月3日まで分室・図書室休室)

※広域利用は平成14年10月1日から開始

4 のべ入館者数(本館のみ)

(単位:人)	12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比
入館者総数			366,562		372,079	101.5%	373,419	100.4%	381,302	102.1%	367,210	96.3%	367,401	100.1%	291,087	79.2%	269,818	92.7%	266,331	98.7%	251,288	94.4%	241,766	96.2%
(夜間入館数)			44,357		45,345	102.2%	43,017	94.9%	68,974	160.4%	66,113	95.9%	65,812	99.5%	66,980	101.8%	60,958	91.0%	59,022	96.8%	54,469	92.3%	48,471	89.0%
(早朝入館数)			4,615		5,163	111.9%	3,420	66.2%	4,336	126.8%	4,173	96.2%	4,072	97.6%	3,119	76.6%	2,742	87.9%	2,532	92.3%	2,821	111.4%	2,393	84.8%

*平成12年度以前についてはカウント装置未設置のためデータ無し *夜間入館者数 平成13年度から15年度は火曜日から金曜日のみが夜8時まで開館、平成

16年度から通年夜間開館(夜8時まで)

*毎年7月20日から8月31日までは朝9時から開館(夏季早朝開館)

5 リクエスト状況

(単位:件)	12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比	数	前年比
カードで予約	10,095		10,953	108.5%	11,328	103.4%	12,830	113.3%	13,901	108.3%	12,584	90.5%	11,067	87.9%	11,398	103.0%	10,666	93.6%	11,792	110.6%	11,874	100.7%	12,403	104.5%
館内検索機予約	22		3,747		4,572	122.0%	5,078	111.1%	5,200	102.4%	4,802	92.3%	4,439	92.4%	4,372	98.5%	5,109	116.9%	6,245	122.2%	6,169	98.8%	5,265	85.3%
インターネット予約			1,080		2,002	185.4%	3,617	180.7%	4,861	134.4%	6,549	134.7%	5,516	84.2%	6,107	110.7%	6,964	114.0%	7,506	107.8%	7,548	100.6%	8,315	110.2%
合計	10,117		15,780	156.0%	17,902	113.4%	21,525	120.2%	23,962	111.3%	23,935	99.9%	21,022	87.8%	21,877	104.1%	22,739	103.9%	25,543	112.3%	25,591	100.2%	25,983	101.5%

※平成12年3月14日からインターネット・利用者開放検索機からの予約受付を開始。

6 情報メディアコーナー利用状況

	12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率	利用者	稼働率
インターネット稼働率			6,054	71.3%	6,379	75.1%	6,396	75.3%	6,399	75.3%	4,730	55.7%	2,705	31.8%	5,123	60.3%	5,563	65.5%	5,972	70.3%	3,590	42.3%	3,125	42.3%
CD-ROM //			1,376	16.2%	884	10.4%	634	7.5%	485	5.7%	472	5.6%	238	2.8%	117	1.4%	59	0.7%	48	0.6%	30	0.4%	0	0.0%
AVコーナー利用件数			4,301	日:14.6人	5,322	日:18.6人	4,524	日:15.4人	4,561	日:15.5人	4,549	日:15.6人	4,081	日:14.0人	5,258	日:17.9人	4,923	日:16.7人	5,420	日:18.5人	5,074	日:18.3人	5,022	日:17.3人

※平成13年3月4日新館オープンのため平成11・12年度は統計なし。

※稼働率:年間のフル稼働の利用人数(1時間・3台)の基準を(708人/月×12ヵ月)=8,496人として計算してある。

7 市民1人当たりの数値

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
図書費(円)	1262.7	555.0	428.4	428.6	352.6	343.7	252.7	248.1	365.0	364.0	352.0	305.0

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
蔵書数	4.8	4.9	5.1	5.2	5.4	5.5	5.6	5.8	5.9	6.0	6.2	6.3

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
登録者1人当たりの貸出数	14.9	20.9	18.4	20.0	19.4	17.2	14.3	17.6	17.6	15.7	14.9	13.9

※平成15～17年度は未実施のためデータなし

8 汚損・破損の状況

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
汚破損の件数		2,094	1,214	901	699	423	559	399	550	870	868	763

9. 消費電力の推移

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
消費電力(kw)				335,994	398,334	407,628	376,026	418,188	371,190	321,348	326,508	246,510

10. 「私の意見・提案」投稿件数

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
件数	5	25	14	0	0	0	15	31	11	18	16	13

※平成15～17年度は未実施のためデータなし。

「私の意見・提案」投稿内容別		23年度
項目	件数	主な内容
資料の充実	40	購入要望
資料管理	19	雑誌のラベル位置・新聞切抜・日焼け本等・延滞者への対策強化・本への書込み・本の返却方法
施設管理	39	イスの改善・トイレトペーパーの盗難・屋上庭園の管理改善・開館時間・電卓使用スペースを・静粛スペースの確保
駐輪場	7	図書館前スペースを駐輪場に・産福側駐輪場の外灯を
静粛	16	騒がしい・巡回・注意の徹底
システム改善	15	インターネット予約関係・画面改善
職員対応	7	職員の接遇、態度改善
計	143	

1. 基本的事項

(1) 図書館奉仕

① 「図書館の自由に関する宣言」など図書館奉仕の基本的な理念を住民に知らせているか。 a

a. 知らせている c. 知らせていない

(2) 図書館整備計画(4条)

① 図書館整備計画があるか。 c

a. ある b. 策定中 c. ない

(ア) 整備計画の策定に図書館が参画しているか。

a. している c. していない

(イ) その整備計画は自治体の総合計画に盛り込まれているか。

a. 盛り込まれている c. 盛り込まれていない

(ウ) 整備計画に基づいて整備が進められているか。

a. 進められている c. 進められていない

(3) 図書館協議会(5条)

① 図書館協議会はあるか。 a

a. ある b. 設置を検討中 c. ない

(ア) 実際に図書館を利用している人を委員に委嘱しているか。 a

a. している b. 検討中 c. していない

(イ) 図書館協議会の定例会は年間何回開催しているか。 b

a. 5回以上 b. 3~4回 c. 2回以下

(ウ) 図書館協議会に諮問しているか。 a

a. している c. していない

(エ) 委員から図書館奉仕についての具体的な提言が出るか。 a

a. 出る c. 出ない

(4) 住民参加の方法(5条)

① 利用者懇談会を開いているか。 c

a. 開いている c. 開いていない

② 事業の企画にあたって住民の声を聴いているか。 a

a. 聴いている c. 聴いていない

③ 図書館の経常的な業務の一部をボランティアにゆだねていることはないか。 a

a. ない c. ある

1 小計 a: 7 / 13 b: 1 / 4 c: 2 / 13

2. 図書館サービス

(1) 図書館システム(9条)

① 図書館は複数あるか。 a

a. 複数館 b. 単館と移動図書館 c. 単館

② 固定施設を中心とした半径1km圏で、自治体区域可住地面積の何割をカバーしているか。 a

a. 7割以上 b. 5割以上 c. 5割未満

- ③ 移動図書館はあるか。 a b c
- a. ある b. 計画中 c. ない
- (2) 物流体制(14条)
- ① 連絡配本車はあるか。 a b c
- a. ある b. 計画中 c. ない
- (ア) 連絡配本車に専任担当者はいるか。 a b c
- a. 正規職員がいる b. 嘱託職員がいる c. 専任はいない
- (イ) 連絡配本車は毎日定時に巡回しているか。 a b c
- a. 毎日・定時に巡回 b. 毎日・不定時に巡回
- c. 毎日巡回してない
- (3) 個人貸出(15,24条)
- ① 初めて登録するとき、証明書類を持っていなくても受け付けることができるか。 a b c
- a. できる c. できない
- ② 利用者が貸出券を忘れてきても、貸出しているか。 a b c
- a. している c. していない
- ③ 貸出方式は利用者の読書の秘密が守られるようになっているか。 a b c
- a. 守られる c. 守られない
- ④ 貸出冊数を制限しているか。 a b c
- a. 制限していない b. 5冊以上 c. 4冊以下
- ⑤ 図書以外に貸出している資料はあるか。 a b c
- a. ある c. ない
- | | | | | |
|-----------------|-------------------------------------|--------|--------------------------|---------|
| ア. 雑誌 | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出している | <input type="checkbox"/> | 貸出していない |
| イ. カセット・テープ | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出している | <input type="checkbox"/> | 貸出していない |
| ウ. コンパクト・ディスク | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出している | <input type="checkbox"/> | 貸出していない |
| エ. ビデオ・カセット・DVC | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出している | <input type="checkbox"/> | 貸出していない |
| オ. 紙芝居 | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出している | <input type="checkbox"/> | 貸出していない |
| カ. 絵画(複製を含む) | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出している | <input type="checkbox"/> | 貸出していない |
- ⑥ 貸出しをしない資料はあるか。 a b c
- a. ない c. ある
- | | | | | | | |
|---------------|-------------------------------------|-----|-------------------------------------|-------|--------------------------|-------|
| ア. 辞書類 | <input type="checkbox"/> | 貸出す | <input checked="" type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| イ. 百科事典類 | <input type="checkbox"/> | 貸出す | <input checked="" type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| ウ. 事典類 | <input type="checkbox"/> | 貸出す | <input checked="" type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| エ. ハンドブック、便覧類 | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出す | <input type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| オ. 図鑑類 | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出す | <input type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| カ. 白書・統計書類 | <input type="checkbox"/> | 貸出す | <input checked="" type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| キ. 年鑑類 | <input type="checkbox"/> | 貸出す | <input checked="" type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| ク. 年表類 | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出す | <input type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| ケ. 豪華本、美術書等 | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出す | <input type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
| コ. 個人全集類 | <input checked="" type="checkbox"/> | 貸出す | <input type="checkbox"/> | 一部貸出す | <input type="checkbox"/> | 貸出さない |
- (ア) 貸出用に参考図書の複本を用意しているか。 a b c
- a. している c. していない
- ⑦ 返却図書の配架作業は誰がしているか。 a b c
- a. 職員がしている c. 利用者がしている

- (4) 館内閲覧
- ① 開架室に閲覧席を設けているか。 a
- a. 設けている c. 設けていない
- ② 席借りのみの自習室を設けているか。(16条) a
- a. 設けていない c. 設けている
- (5) 資料案内(24,25条)
- ① 資料案内(読書相談)の窓口が利用者に明示されているか。 a
- a. 明示している c. 明示していない
- ② 利用者から相談を受けたときすぐ対応できるか。 a
- a. 対応できる c. 対応できない
- ③ 職員はフロアワークをしているか。 c
- a. している c. していない
- (6) 予約サービス(24,26条)
- ① 予約制度のあることを明示しているか。 a
- a. している c. していない
- ② 予約申込書は利用者の分かりやすいところに置いているか。 a
- a. 置いている c. 置いていない
- ③ どのような本でも予約を受付けているか。 a
- a. 受付けている c. 受付けていない
- ④ 都立図書館から必要に応じて図書を借りるか。 a
- a. 借りる c. 借りない
- ⑤ 国立国会図書館の「図書館間貸出」制度に加入しているか。 a
- a. 加入している c. 加入していない
- (ア) 国立国会図書館から借りた本の返送料を誰が負担しているか。 a
- a. 図書館が負担 c. 利用者が負担
- (7) 団体貸出(27条)
- ① 家庭・地域文庫、読書グループなどへ団体貸出をしているか。 a
- a. している c. していない
- (ア) 貸出限度冊数や期間は利用団体の希望に応じて柔軟に対応しているか。 a
- a. している c. していない
- (イ) 団体貸出図書は配本しているか。 a
- a. 配本している c. 配本していない
- (8) レファレンス・情報サービス(15,28-31条)
- ① レファレンス(調査相談)の案内表示を出しているか。 a
- a. 出している c. 出していない
- ② 参考資料室(コーナー)を設けているか。 a
- a. 設けている c. 設けていない
- ③ レファレンスの窓口にいつも担当者が居るか。 a
- a. 居るようにしている c. 居ない
- ④ 寄せられた質問や相談が図書館では答えにくいものであっても、適当な専門機関や専門家を紹介することができるか。 a
- a. ある c. ない
- ⑤ 都立図書館など他の図書館の所蔵資料をインターネットで検索できる設備・環境が整備されているか。 a
- a. されている c. されていない

- ⑥ 利用者が外部のデータベース等にアクセスできる検索用端末機を備えているか。 a
- a. 備えている c. いない
- (9) 乳幼児・児童・青少年サービス(18条)
- ① 子どもの登録手続きに証明書類が必要か。 c
- a. 要らない c. 要る
- ② 子どもの予約に制限を設けていないか。 c
- a. 設けていない c. 設けている
- ③ 子どもの本の選択基準があるか。 a
- a. ある c. ない
- ④ 児童室(コーナー)の配架やサイン、展示は子どもに分かりやすいように配慮しているか。 a
- a. 子ども向けにしている c. 一般と同じにしている
- ⑤ お話し会やブックトークなど子ども向けの行事を定期的に行っているか。 a
- a. 行っている c. 行っていない
- ⑥ 青少年向けの行事や講座を行っているか。 a
- a. 行っている c. 行っていない
- (10) 学校・学校図書館との連携(18条)
- ① 学校図書館へ資料の貸出をしているか。 a
- a. している c. していない
- ② 学校図書館にブックリストやお知らせなどを配布しているか。 a
- a. 配布している c. 配布していない
- ③ 学校図書館の担当者との交流を定期的に行っているか。 a
- a. している c. していない
- ④ 学校や幼稚園・保育所などに出かけてお話し会やブックトークを行っているか。 a
- a. 行っている c. 行っていない
- (11) 高齢者、障害者などへのサービス(19,20条)
- ① 文字の大きな資料を意図的に収集しているか。 a
- a. 収集している c. 収集していない
- ② 拡大鏡や老眼鏡、あるいは拡大読書機を備えているか。 a
- a. 備えている c. 備えていない
- ③ 障害者サービス担当の職員は居るか。 a
- a. 居る c. 居ない
- ④ 手話や点字のできる職員は居るか。 c
- a. 居る c. 居ない
- ⑤ 障害者手帳の有無にかかわらず障害者サービスを利用できるか。 a
- a. 利用できる c. 利用できない
- ⑥ 対面朗読サービスをしているか。 a
- a. している c. していない
- (ア) 対面朗読サービスは予約なしでも利用できるか。 c
- a. 利用できる c. 利用できない
- ⑦ 点訳や音訳サービスをしているか。 a
- a. している c. していない
- ⑧ 来館しにくい障害者のために自宅配本をしているか。 a
- a. している c. していない
- ⑨ 来館しにくい障害者のために来館の手助けをしているか。 c
- a. している c. していない

- ⑩ 病院に入院している人のために配本サービスをしているか。 c
a. している c. していない

(12) 多文化サービス(22条)

- ① 在日外国人向けの利用案内や利用申込書を用意しているか。 c
a. 用意している c. 用意していない
- ② 外国人向けに図書館サービスの広報をしているか。 c
a. している c. していない
- ③ 外国人向けに母語で著された資料を収集しているか。 a
a. 収集している c. 収集していない

(13) 集会・行事(16,33,34条)

- ① 集会室はあるか。 a
a. ある c. ない
- (ア) 集会室の申込みは当日にできるか。 a
a. できる c. できない
- (イ) 集会室は無料か。 a
a. 無料が原則 c. 有料が原則
- ② 講演会・展示会・鑑賞会・お話し会などの行事を月に1回以上開催しているか。 a
a. 平均月1回以上 c. 平均月1回未満
- ③ 住民団体との共催事業をしているか。 a
a. 共催している c. 共催はない

2 小計 a: 47 / 63 b: 1 / 7 c: 15 / 63

3. 相互協力

(1) 相互協力の組織(50条)

- ① 近隣の公立図書館との間で相互協力の協定を結んでいるか。 a
a. 結んでいる c. 結んでいない
- ② 地域内の大学・短大図書館等との間で相互協力制度を確立しているか。 c
a. している c. していない
- ③ 相互協力の窓口を1か所で行っているか。 a
a. 中央館で行っている b. 内容で分担している c. 統一していない

(2) 相互協力の内容(51条)

- ① 相互貸借を行っているか。 a
a. 行っている c. 行っていない
- ② 相互協力参加館の間で協力して相互貸借の本の輸送を定期的に行っているか。 a
a. 定期的に行っている c. 各館で行っている
- ③ 相互貸借に必要な郵送料を図書館が負担しているか。 a
a. 図書館が負担 c. 利用者が負担

(3) 関係機関等との連携(52条)

- ① 類縁機関への紹介状はすぐに発行できるか。 a
a. できる c. できない

4. 開館時間、休館日(23条)

- ① 夜間開館をしているか。 a
a. している c. していない
- ② 日曜日は開館しているか。 a
a. 開館している c. 開館していない
- ③ 日曜祝日や夜間開館の際の職員体制は、平日とあまり違いのない体制が組
んでいるか。 a
a. 組んでいる c. 組めていない

5. 広報(35条)

- ① 定期的に館報を発行しているか。 a
a. 発行している c. 発行していない
- ② 自治体の広報紙や地域テレビを活用して広報しているか。 a
a. 活用している c. 活用していない
- ③ 新聞の地方版に日常的に図書館の情報を提供しているか。 c
a. 提供している c. 提供していない
- ④ 新着図書リストを定期的に発行しているか。 a
a. 発行している c. 発行していない

3~5 小計 a: 12 / 14 b: / 1 c: 2 / 14

6. 図書館資料

(1) 収集方針・選択基準(38条)

- ① 資料収集方針および資料選択基準を成文化しているか。 a
a. 成文化している c. 成文化していない
- (ア) 資料収集方針および資料選択基準を住民に公開しているか。 a
a. 公開している c. 公開していない
- (イ) 資料収集方針および資料選択基準は教育委員会の承認を得ているか。 a
a. 承認を得ている c. 承認を得ていない
- (ウ) 資料収集方針および資料選択基準は必要の都度改定しているか。 b
a. 必要の都度改定 b. まとめて改定 c. 改定していない

(2) 開架図書(13条)、資料構成(36,37条)と収集の範囲(40-43条)

- ① 開架図書に対する年間購入冊数の割合はどのくらいか。 c
a. 1/7以上 c. 1/7未満
- ② どの地域館も開架図書が5万冊以上あるか。 c
a. ある c. ない
- ③ 中央館では雑誌を400種以上購入しているか。 b
a. 400種以上 b. 200種以上 c. 200種未満
- ④ どの地域館も雑誌を100種以上購入しているか。 c
a. 100種以上 b. 50種以上 c. 50種未満
- ⑤ 地方行政資料を収集しているか。 a
a. 大部分を収集 b. 一部分を収集
c. ほとんど収集できていない
- ⑥ その地域の出版物を収集しているか。 b
a. 大部分を収集 b. 一部分を収集
c. ほとんど収集できていない
- ⑦ 政党機関紙(誌)は収集しているか。 a
a. 収集している c. 収集していない

(3) 資料の組織化(46-49条)

- ① 資料の整理は統一的な基準と方法で行っているか。 a
a. すべてを統一的に処理 b. 一部の資料を統一的に処理
c. 各館独自
- (ア) どのサービス拠点(移動図書館を除く)からでもすべての所蔵資料を検索できるか。 a
a. すべて検索できる b. 図書・雑誌だけ検索できる
c. すべてできない
- ② 収集した地域に関する資料・情報の目録、データベースを作成しているか。 a
a. している c. していない
- ③ 開架図書の更新(閉架への移動)を日常的に行っているか。 a
a. 行っている c. 行っていない

6 小計 a: 9 / 15 b: 3 / 7 c: 3 / 15

7.職員 (87-91条)

- ① 専門職員の採用は公募しているか。 a
a. 公募している c. 公募していない
- ② 採用試験の面接に館長は立ち会っているか。 a
a. 立ち会っている c. 立ち会っていない
- ③ 専門職員の比率は何%か。 b
a. 70%以上 b. 50%以上 c. 50%未満
- ④ 館長は正規職員か。 a
a. 正規職員 c. 嘱託職員
- ⑤ 館長は専任職員か。 a
a. 専任職員 c. 兼務職員
- ⑥ 館長は司書(司書補)有資格者か。 c
a. 有資格者 c. 無資格者
- ⑦ 館長は図書館運営の基本方針を職員に徹底させているか。 a
a. 徹底させている c. 徹底できていない
- ⑧ 「図書館の自由に関する宣言」「図書館員の倫理綱領」が臨時(非常勤)職員を含むすべての職員に周知されているか。 a
a. 周知されている c. 周知されていない
- ⑨ 全職員を構成員とする職場会議を開催しているか。 a
a. 開催している c. 開催していない
- ⑩ 職員は職場内で研修の機会が与えられているか。 a
a. 与えられている c. 与えられていない
- ⑪ 職員は図書館業務について職場外研修の機会が与えられているか。 a
a. 与えられている c. 与えられていない
- ⑫ 週休2日制を土・日曜日以外の曜日にとることに対して何らかの補償を行っているか。 c
a. 補償している c. 補償していない
- ⑬ 経常的な仕事に臨時(非常勤)職員を充てることのない体制になっているか。 c
a. なっている c. なっていない

8.経費 (92-95条)

- ① 人件費を含む図書館予算は一般会計の1%以上を占めているか。 b
a. 1%以上 b. 0.7%以上 c. 0.7%未満

9.施設 (96-99条)

- ① 全館の施設設備は障害者が健常者と同様に利用できるよう整備しているか。 c
- a. 整備している c. 整備できていない
- ② 集会室は開館時間外でも利用できるか。 a
- a. 利用できる c. 利用できない

7~9 小計 a: 10 / 16 b: 2 / 2 c: 4 / 16

集 計 票

項 目	主たる 設問	従たる 設問	回 答 肢		
			a	b	c
1 基本的事項	6	7	7 / 13	1 / 4	2 / 13
2 図書館サービス	54	9	47 / 63	1 / 7	15 / 63
3 相互協力	7		6 / 7	/ 1	1 / 7
4 開館時間, 休館日	3		3 / 3	/	/ 3
5 広 報	4		3 / 4	/	1 / 4
6 図書館資料	11	4	9 / 15	3 / 7	3 / 15
7 職 員	13		9 / 13	1 / 1	3 / 13
8 経 費	1		/ 1	1 / 1	/ 1
9 施 設	2		1 / 2	/	1 / 2
合 計	101	20	85 / 121	7 / 21	26 / 121
		割合	70.2%	33.3%	21.5%

平成 24 年度羽村市図書館が実施した図書館評価に対する意見書

羽村市図書館協議会会長 塚原 博

1. 図書館評価についての概観

羽村市図書館は、平成 22 年度から用いている『図書館評価のためのチェックリスト改訂版』（日本図書館協会）によって図書館の運営に関わる評価を行った。これは、図書館法の第 7 条 3「図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の改善を図るために必要な措置を講ずるようつとめなければならない」に基づくものである。評価のために用いたチェックリストは市立図書館等の職員が図書館の経営・活動の現状について自己点検を行い、改めるべき問題点を見出すためのものである。同じ評価法を継続して用いることは、経年変化を見ることもできるため適切といえる。

文部科学省による「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（以下、「基準」）が平成 24 年 12 月に改訂告示された。今後この基準も視野に入れて図書館運営を行い、評価を実施することも必要である。平成 22 年度の意見書で、市民へのアンケート調査など利用者による評価方法の開発・実施が推奨されたが、今回も取り入れられていない。

2. 全体的な評価結果について

今回は、全体的な図書館経営・活動に対する評価結果としては、「評価できる」が初めて 70%台に到達しよい結果となった。前年度 67.8%から 70.2%と改善された。席借りのみの自習室を閲覧室に改めたことと、ヤングアダルトサービスとして中学生向け司書体験講座を新たに実施したことによる。更に、80%～90%の比率に高めていくことが肝要である。

図書館経営・活動に対する各項目別の「評価できる」の結果は、「開館時間・休館日」100%、「相互協力」85.7%と 3 年間同じで大変高い評価を得ている。今回は、「図書館サービス」が 74.6%（前年 69.8%）とよい評価が得られた。「広報」は前年度同様 75.0%とである。次に、「職員」69.2%と「図書館資料」60.0%は 3 年間全く変化がなく、70%台に引き上げるよう改善したい。評価が低いのは、「基本的事項」53.8%、「施設」50.0%、「経費」0%である。3 年間変化がなく、経費、施設、基本的事項は特に改善が必要である。

3. 各項目別の評価について

3.1. 基本的事項：各設問を個別的にみると、「基本的事項」は 53.8%で低い評価である。前々年度に、“図書館整備計画”を策定するように述べられている。また、『今後の図書館サービスのあり方について：答申』（羽村市図書館協議会 平成 23 年 6 月 23 日、以下『答申』）においても“今後策定される市の長期総合計画や、生涯学習基本計画等の中に、図書館計画を盛り込んでもらうように”といわれていたが、羽村市長期総合計画や生涯学習基本計画に読書活動推進が謳われているが、図書館基本計画が盛り込まれ策定されたとはいえないといえよう。

図書館協議会についての評価結果からは、定例会年 5 回以上開催が確認される。『答申』にも 6 回以上の開催がいられている。現在の 3 回から 4 回へと一歩改善が望まれる。住民参加の方法としては、前々年度から利用者懇談会を“開催の方法等を工夫して再開しては”といわれている。『答申』にもその必要性は示されており、利用者懇談会の再開が望まれる。

3.2 図書館サービス：この項目は、74.6%（前年 69.8%）とよい評価となった。さらに、改善を進めて 80%台に高めるようにしていただきたい。

「予約サービス」、「団体貸出」、「学校・学校図書館との連携」、「集会・行事」、「レファレンス・情報サービス」は大変よい評価であるが、内容の充実を更に図っていききたい。例えば、学校図書館とのシステム構築、小学生の図書館訪問などを更に進めていききたい。

市民への資料案内を充実させるために、「フロアーワーク」を充実させたい。前々年度以来の指摘の通り、積極的な実施が必要である。図書館員はフロアーに出て、一人一人に対応した読書案内・書架案内を行うと共に、利用者の安全確認を行うことが重要である。また、パンフレットやリーフレットなどの紹介も併せて行うことが『答申』で述べられている。「児童サービス」では、一人一人の子どもへの対応を更に進め、楽しい本の世界、読書の世界へ誘（いざな）うことができるように、フロアーワークを強化したい。

「ヤングアダルトサービス」は、今回一歩前進した。更に専任の司書の配置等も考慮し、ヤングアダルト司書であることがわかるように図書館側からアピールして、中学生、高校生の図書館利用を充実、促進することが望まれる。

「高齢者」・「障害者（児）」・「入院患者（児）へのサービス」、「多文化社会サービス」なども、前々年度から課題となっている。高齢者への対面朗読、また音訳などが減っているため、もっと広めていくことが必要である。「手話・点字のできる司書」の養成や、「音訳・点訳サービス」、「来館しにくい障害者への来館の手助け」、「在住外国人向けの利用案内・申込書の用意」や「図書館サービスの広報」、「宅配サービスの拡充」などへの着手を早急に行い、積極的に取り組むことが望まれる。

3.3 相互協力：この項目は、**85.7%**と大変よい評価を得ている。近隣大学との連携については話し合いが進行中であり、市民の大学図書館利用と、相互貸借が可能になるとよい。

3.4 開館時間・休日：この項目は、**100%**の最高の評価となっている。羽村市図書館は日曜日・祭日午後**8**時まで開館しており、これは西多摩地域内では羽村市図書館一館である。

3.5 広報：この項目は、**75%**と評価が高い。「図書館だより」は年**2**回発行（半年刊）であるが、春夏秋冬の季節ごとの発行（季刊）が望まれる。また、答申では、“新聞の地方版に日常的に図書館の情報を提供していくこと”が必要と述べられている。

3.6 図書館資料：この項目は**60.0%**で及第であるが、資料購入が減少し図書、雑誌共に購入が減少している。図書は“開架冊数の七分の一以上の年間増加冊数の確保”が望まれる。分室は、高齢者も利用でき、予約もできることを**PR**し、最低**3**万冊を揃えたい。

雑誌は、新しい情報を提供できる媒体であり、**300**種程度揃えることが必要である。

3.7 職員：この項目は**69.2%**で、今回も、館長は司書有資格者とする、及び、司書の比率を**70%**以上にすることが、評価結果から確認できる。文部科学省告示「基準」では、司書資格を有するものを「充てる」ことから「任命する」ことに改正された。学校長が教育免許を有するものが当たっていることと同じように司書資格を有する館長の配属が望まれる。『答申』では、司書職制度をつくることが述べられている。正規職員の司書率が前年度の**25%**から**37.5%**と改善された。当面全国平均の**50%**へ引き上げる努力が望まれる。

3.8 経費：**0%**という最低評価である。図書館予算は、図書館自身の節約努力もあり、一般会計の**0.8%**程度である。**3%**配当している自治体もある。一般会計の**1%**は確保したい。

3.9 施設：分室は、入り口の段差を解消するなどのバリアフリー化が望まれている。

4. まとめ

羽村市図書館は赤ちゃんから高齢者、障害者まで活発に利用されており、貸出冊数は前年度より増加した。優れたサービスを行う鍵を握るのは、図書館とは何かがわかっている熱意のある優れた司書の働きである。上述の意見を参考に、市民に愛される図書館として、優れたサービスを提供する教育機関として、図書館運営の改善を更に図っていただきたい。

羽村市図書館利用者アンケート

羽村市図書館では、「利用者の目線に立った図書館サービス」を心がけています。

皆様からの声をお聴きし、窓口サービスや環境整備等のより一層の向上につなげ、満足度の向上を図っていきたいと考えておりますので、ぜひ、アンケートにご協力をお願いします。

* 該当するところに _____ をつけてください。

1 本日は、どのような用事で図書館に来られたかお伺いします。(複数回答可)

本や雑誌等を借り・返しにきた。(本や雑誌の予約も含む)

本や雑誌・新聞を読みに来た。

インターネット端末を使いに来た。

CD・DVDを聴く・観に来た。

図書館の資料を使つての調べ物にきた

閲覧室(コーナー)での自主学習にきた。

本や資料について相談にきた。

おはなし会や講演会・講座などの催し物にきた。

その他(_____)

2 本日の目的の達成度についてお伺いします。

満足 やや満足 やや不満 不満

3 図書館の開館時間や休館日についてお伺いします。

満足 やや満足 やや不満 不満

4 図書館の貸出(冊数・期間) 予約・リクエストの方法についてお伺いします。

満足 やや満足 やや不満 不満

5 館内での本の探しやすさ、レファレンスサービス(調べ物のお手伝い)・受付の対応についてお伺いします。

満足 やや満足 やや不満 不満

6 図書館の施設(閲覧室の席数)・資料(量・質等)についてお伺いします。

満足 やや満足 やや不満 不満

7 羽村市図書館は総合的に見て、利用しやすい施設かお伺いします。

満足 やや満足 やや不満 不満

8 ご意見やご要望、悪いところ・良いところがありましたら、ご自由にご記入ください。

ご意見ご要望

・ 悪いところ

・ 良いところ

よろしければ、あなたについておしえてください。

* 該当するところに をつけてください。

年 齢	・幼 児	・小学生	・中学生	・高校生	・10代(高校生以下を除く)	
	・20代	・30代	・40代	・50代	・60代	・70代以上
性 別	・男 性	・女 性				
住 所	・小作台	・川 崎	・五ノ神	・栄 町	・神明台	・玉 川
	・ 羽	・羽加美	・羽 中	・羽 東	・羽 西	・富士見平
	・双葉町	・緑ヶ丘	・羽村市以外		()	
職 業	・会社員	・公務員	・主婦	・無職	・学生	・その他()
図 書 館 の 利 用 頻 度	・ほぼ毎日	・月10回 以上	・月9回 ~4回	・月3回 ~1回	・年数回	

ご協力ありがとうございました。

羽村市図書館

2012

付8 羽村市図書館利用者アンケート 2012 集計結果

実施期間：平成24年8月21日(火)～26日(日)

配布数：1000枚

有効回答数：686枚

*該当するところに _____ をつけてください。

1 本日は、どのような用事で図書館に来られたかお伺いします。(複数回答可)

本や雑誌等を借り・返しにきた。(本や雑誌の予約も含む)

本や雑誌・新聞を読みに来た。

インターネット端末を使いに来た。

CD・DVDを聴く・観に来た。

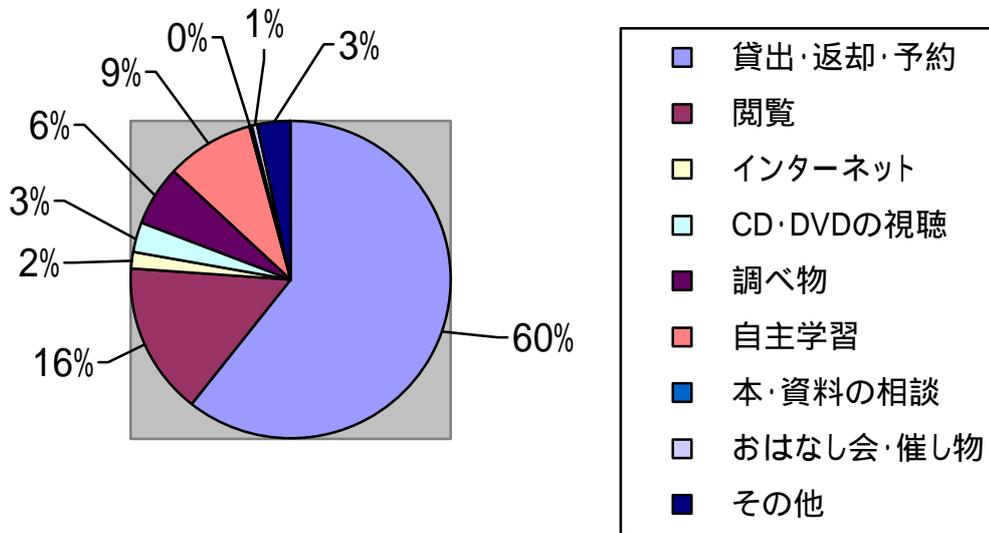
図書館の資料を使つての調べ物にきた

閲覧室(コーナー)での自主学習にきた。

本や資料について相談にきた。

おはなし会や講演会・講座などの催し物にきた。

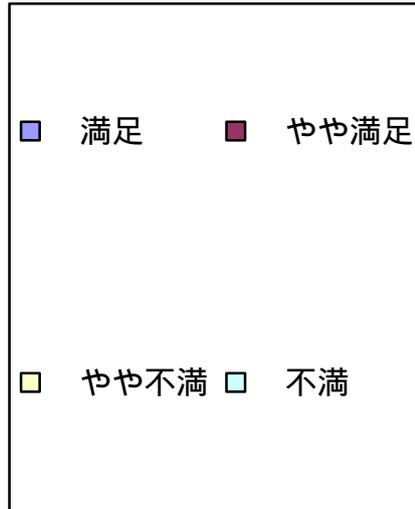
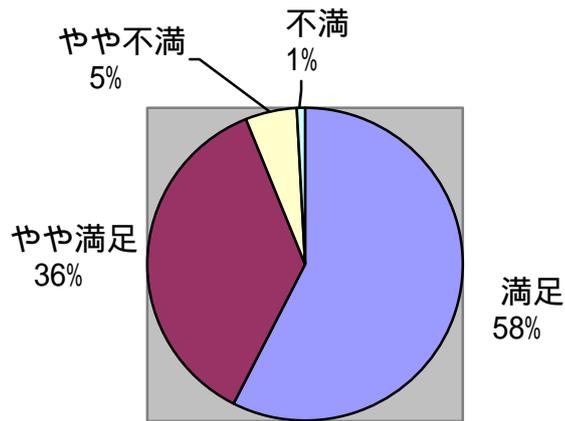
その他(_____)



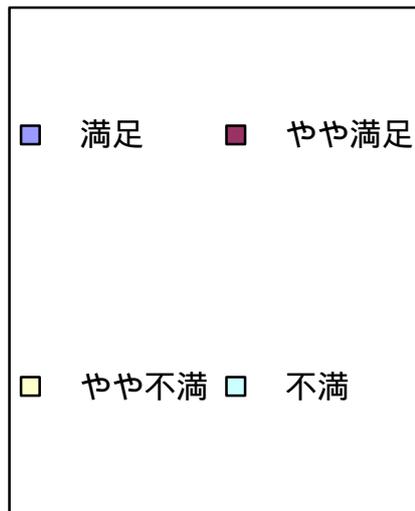
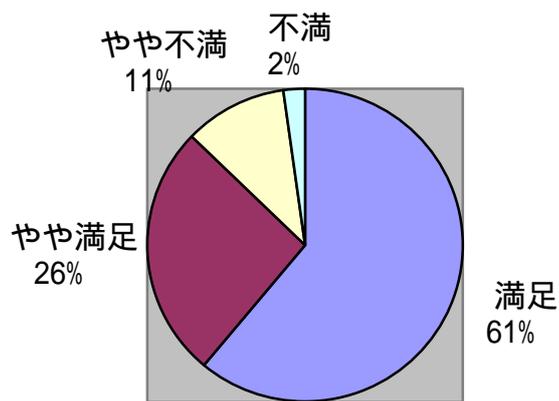
その他

子ども・孫の付き合い	2
傘の返却	1
涼みに	1

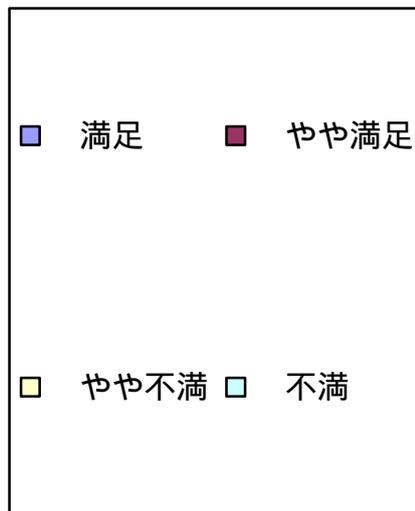
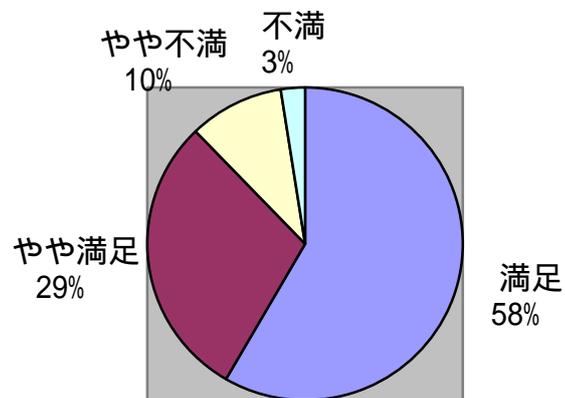
2 本日の目的の達成度についてお伺いします。



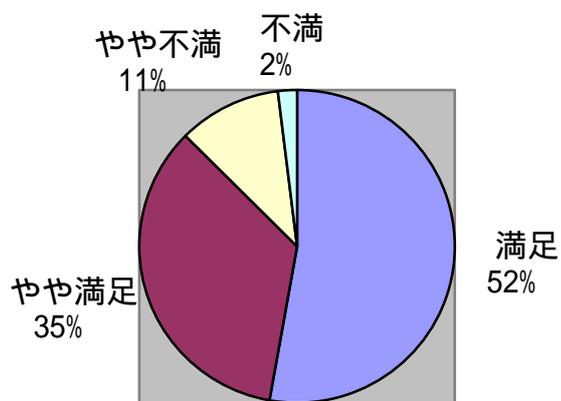
3 図書館の開館時間や休館日についてお伺いします。



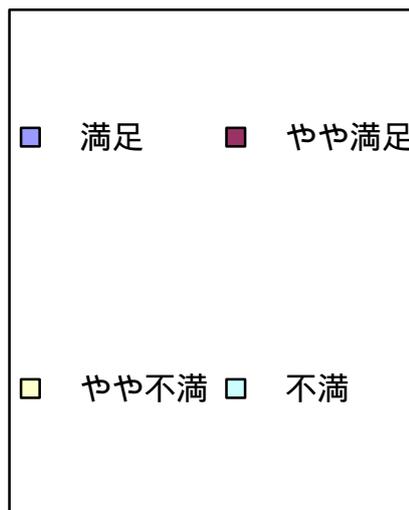
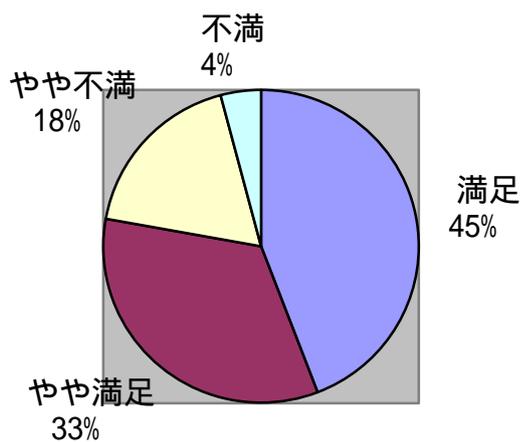
4 図書館の貸出（冊数・期間）予約・リクエストの方法についてお伺いします。



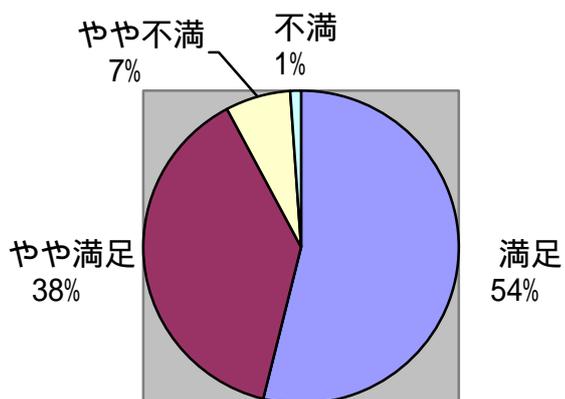
5 館内での本の探しやすさ、レファレンスサービス(調べ物のお手伝い)・受付の対応についてお伺いします。



6 図書館の施設(閲覧室の席数)・資料(量・質等)についてお伺いします。

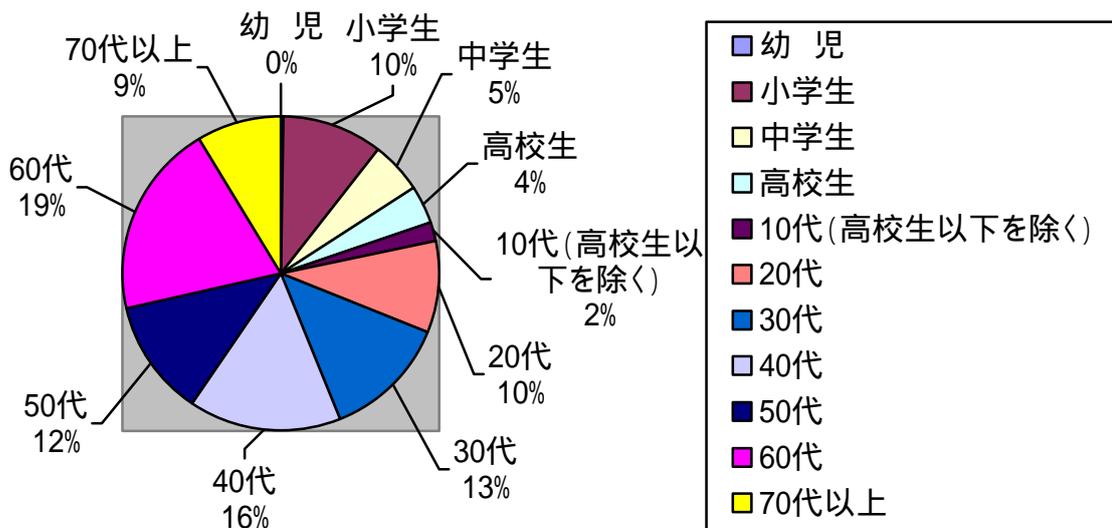


7 羽村市図書館は総合的に見て、利用しやすい施設かお伺いします。

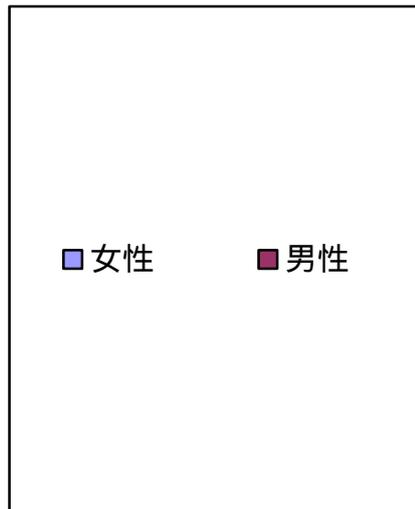
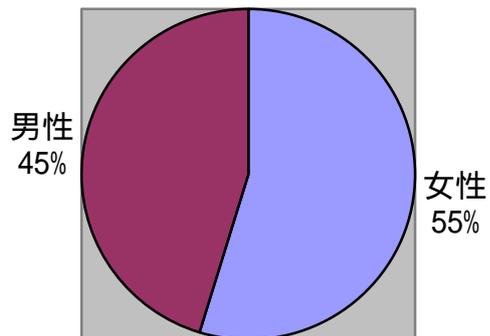


よろしければ、あなたについておしえてください。

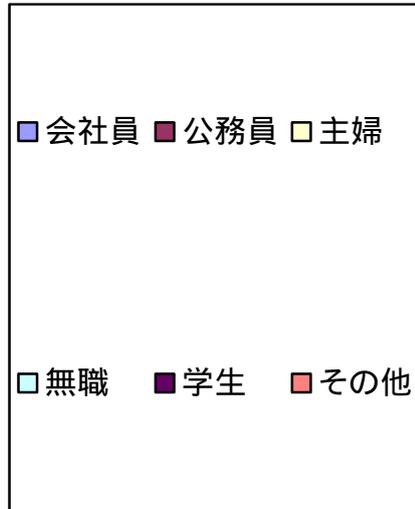
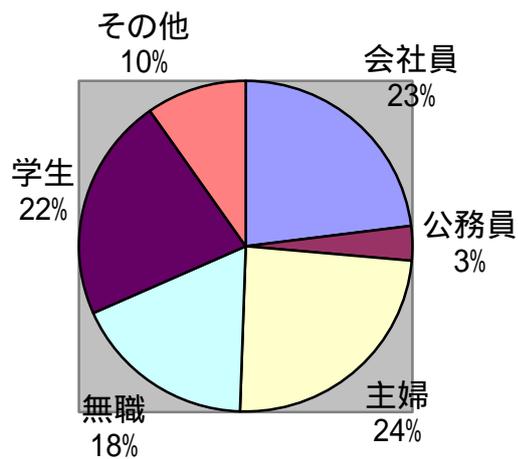
年 齢



性 別



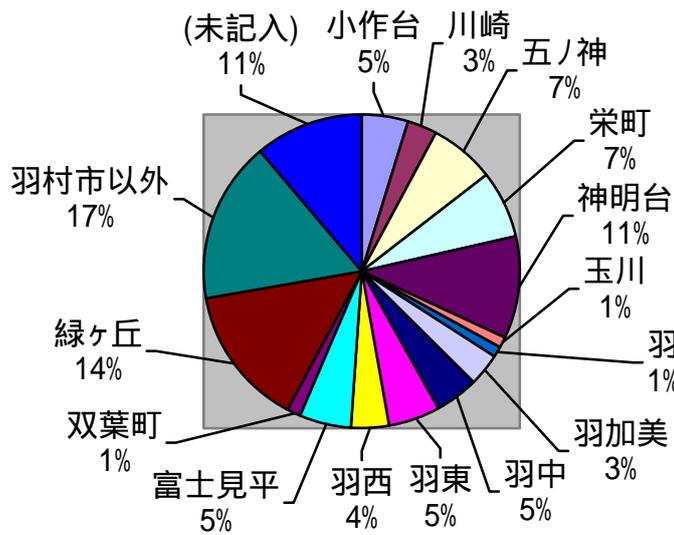
職業



その他

自営業	7
-----	---

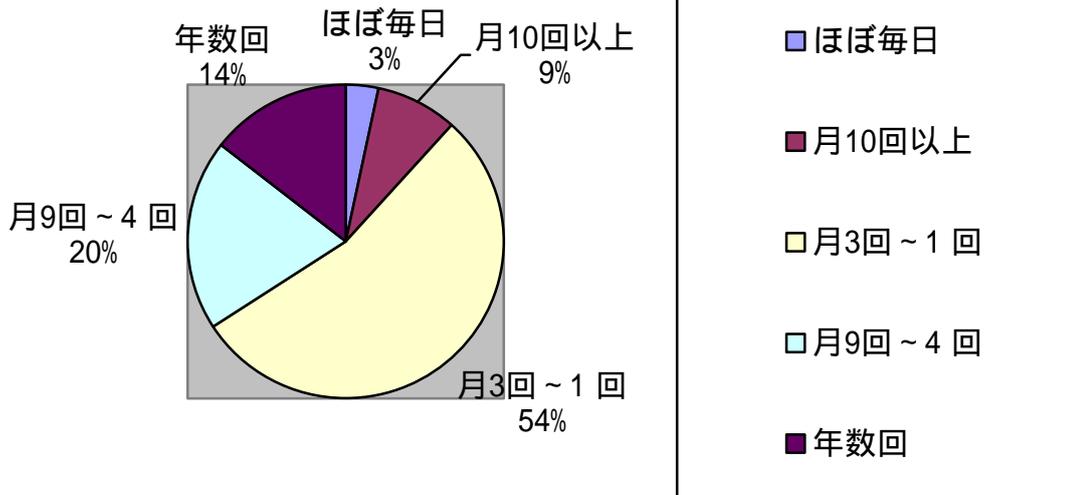
住所



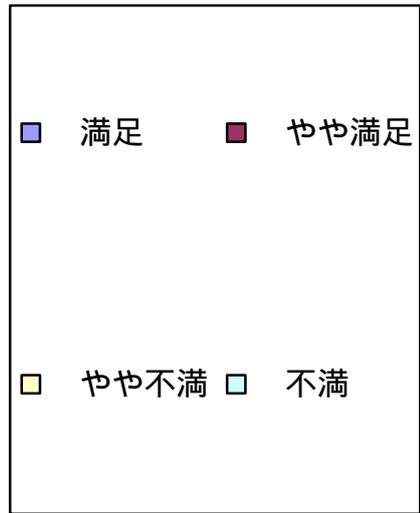
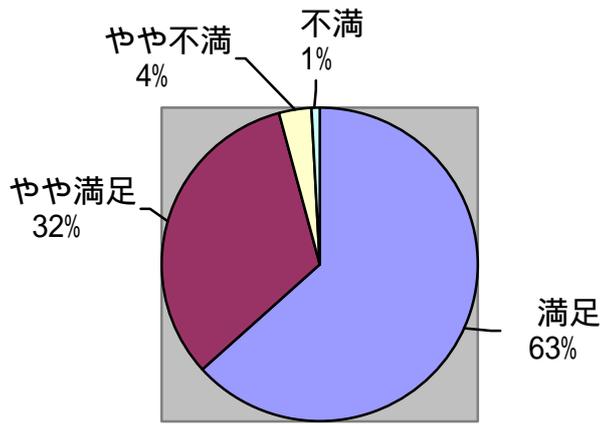
羽村市以外

青梅市	28
福生市	16
瑞穂町	16
あきる野市	3
武蔵村山	1
中野区	1
(未記入)	50

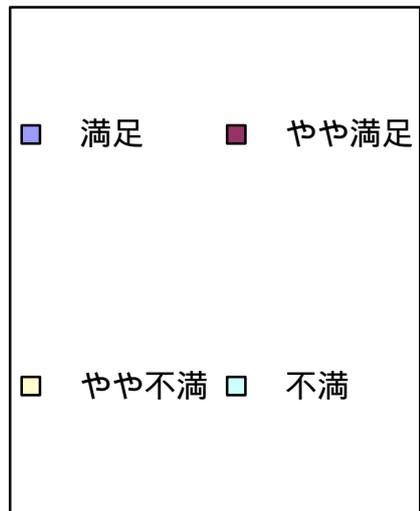
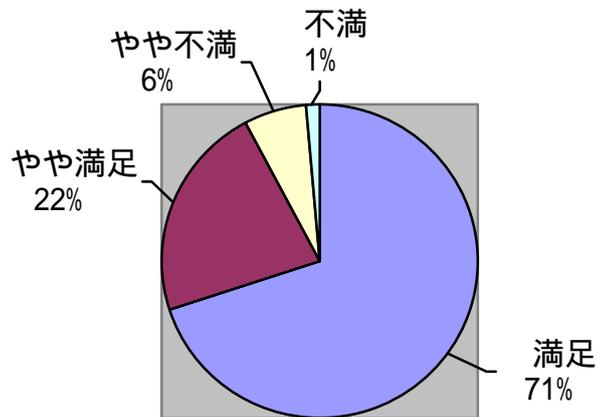
図書館の利用頻度



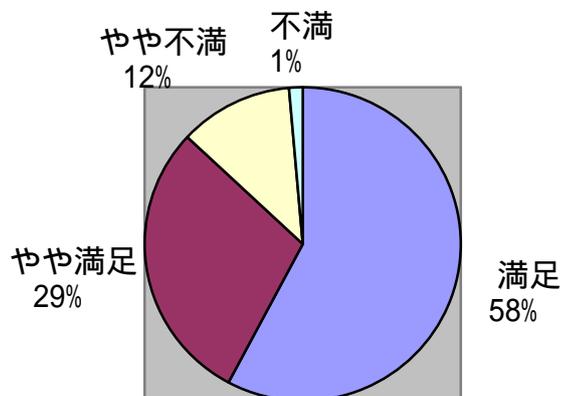
2 本日の目的の達成度についてお伺いします。



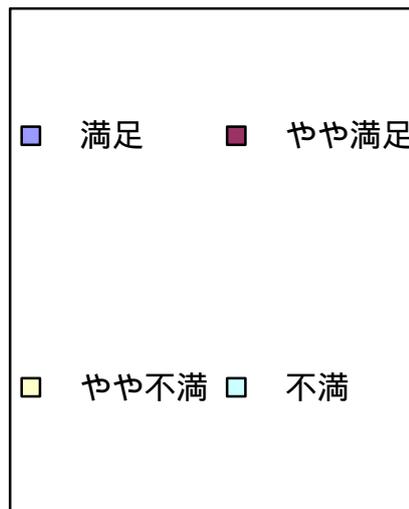
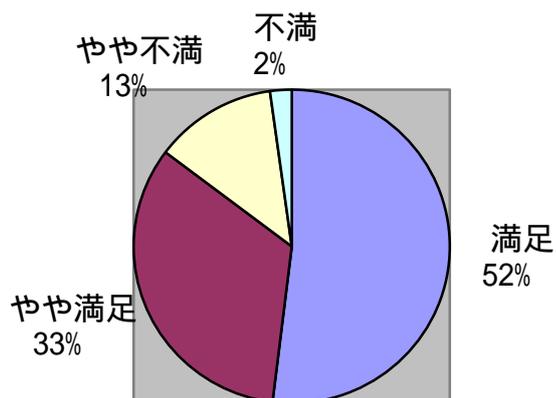
3 図書館の開館時間や休館日についてお伺いします。



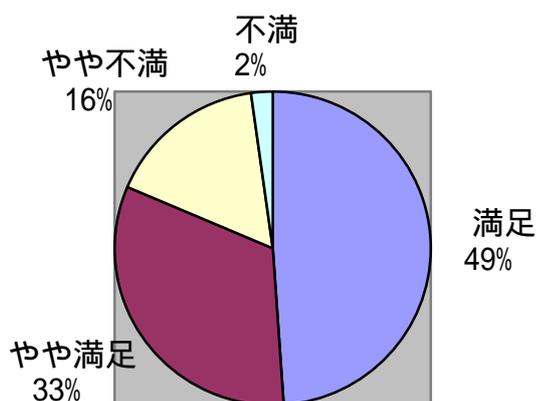
4 図書館の貸出(冊数・期間) 予約・リクエストの方法についてお伺いします。



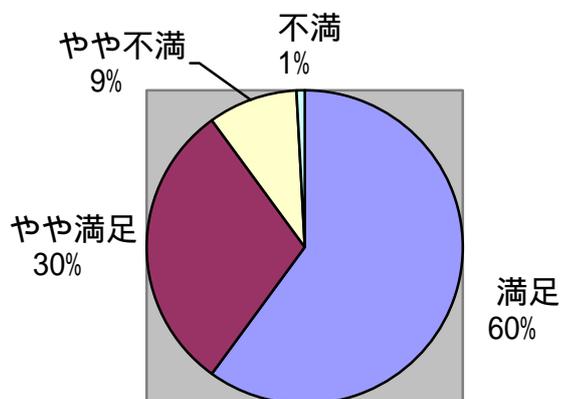
5 館内での本の探しやすさ、レファレンスサービス(調べ物のお手伝い)・受付の対応についてお伺いします。



6 図書館の施設(閲覧室の席数)・資料(量・質等)についてお伺いします。

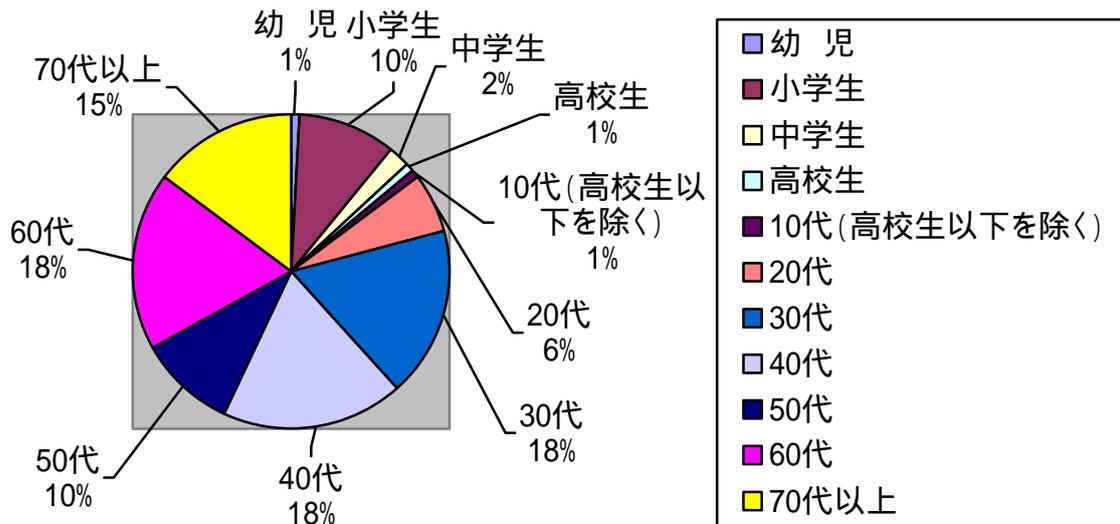


7 羽村市図書館は総合的に見て、利用しやすい施設かお伺いします。

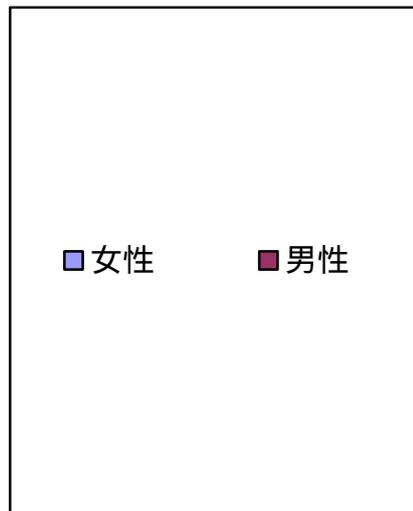
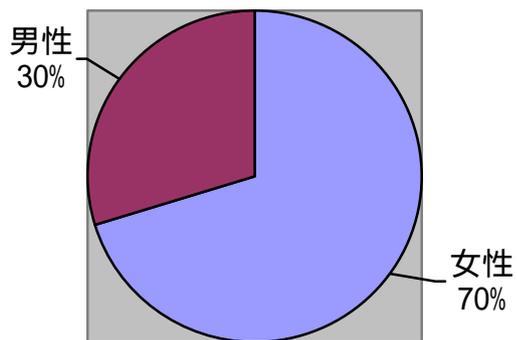


よろしければ、あなたについておしえてください。

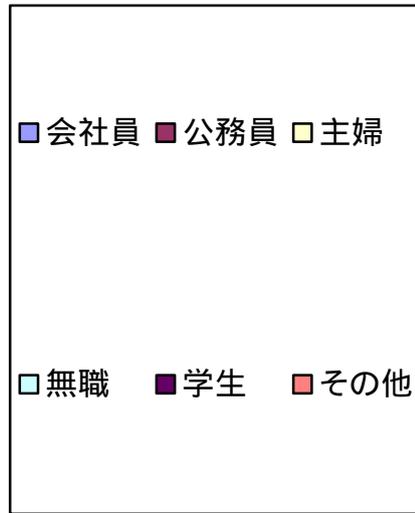
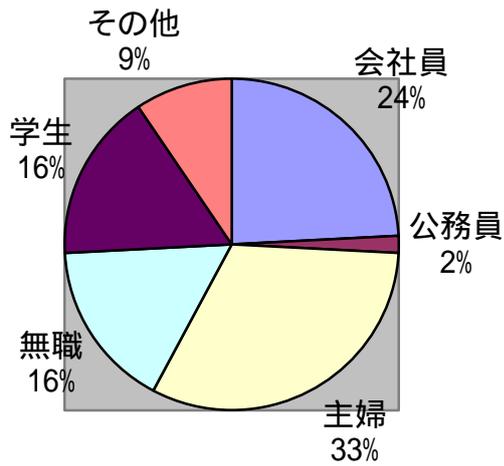
年 齢



性 別



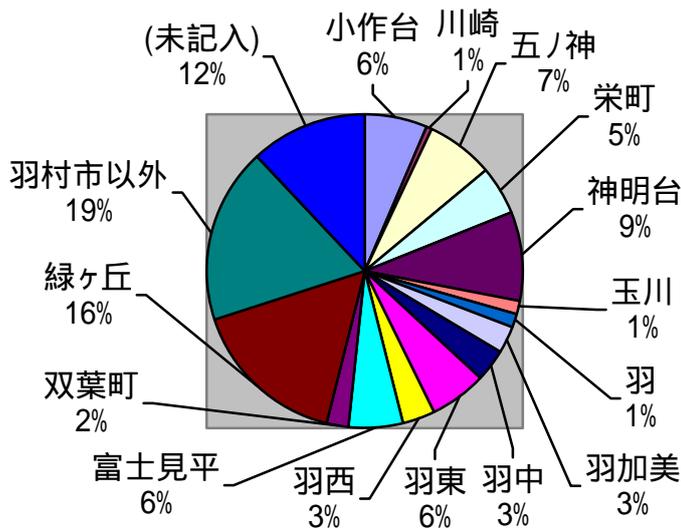
職業



その他

(未記入)	11
-------	----

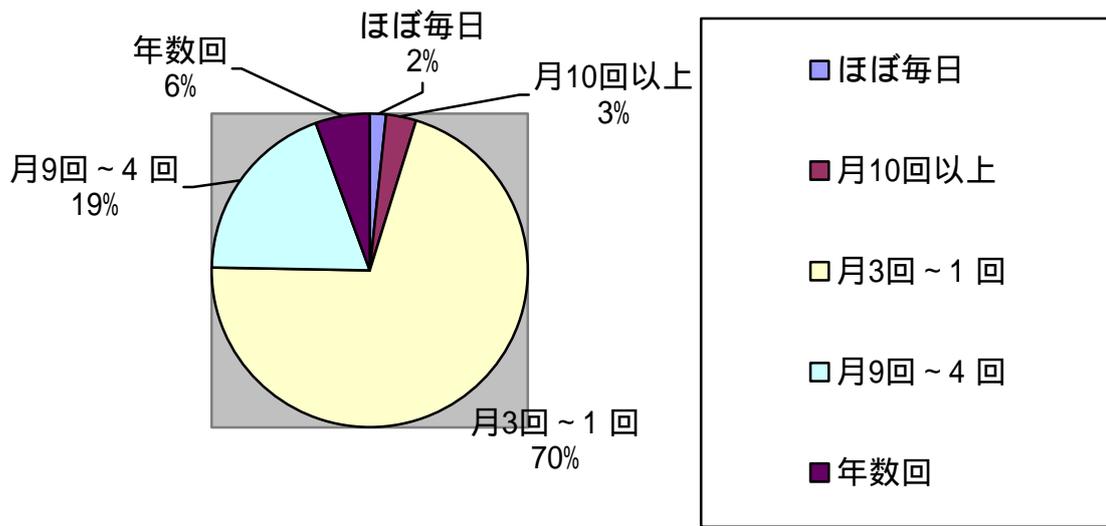
住所



羽村市以外

青梅市	7
福生市	3
瑞穂町	2
あきる野市	1
日の出町	1
八王子市	1
(未記入)	11

図書館の利用頻度



付 10 羽村市図書館利用者アンケート集計結果 (良いところ)

市内利用者(無記入含む)

- ・静かで職員の対応にも満足です(18)
- ・とてもキレイ(15)
- ・ゆったりとしていて良い(9)
- ・本の冊数がおおい(8)
- ・本が探しやすい(7)
- ・満足している(6)
- ・本の予約がしやすい(5)
- ・1階にこどもの本が置いてあること(4)
- ・20時まで開いていて便利です(3)
- ・子ども、赤ちゃんのおはなし会があるのがうれしい(3)
- ・B1階で本を読み、勉強することが出来る(3)
- ・10冊まで借りられるところ(2)
- ・気楽に本を読み、立ち寄れる(2)
- ・コンピューターで調べられる(1)
- ・リクエストした本の題名までメールしてもらえるのがうれしいです(他の図書館では資料本としか記されていないので分かりにくい)(1)
- ・落語のCDがたくさんあってよい。(1)
- ・全面禁煙化が良い。(1)
- ・ビデオを見られる。(1)
- ・返却がどこの分館でもできる(1)
- ・屋上のハーブガーデンはすてき(1)

広域利用者

- ・環境が良い(9)
- ・担当者の態度・対応が丁寧でよい(5)
- ・本は比較的探しやすい。(4)
- ・開館時間が長いところ。(2)
- ・古い本も保存されていて状態も良い。
- ・玄関に入ってすぐのところに「子育て支援図書コーナー」を設けてあり、児童虐待の防止等にもつながる良い企画と思います。
- ・余裕をもって、座って読める場所があるのがよい。
- ・貸出冊数が10冊と多い。
- ・シリーズの本がいっぱいあるところ。
- ・個別の部屋があるところ
- ・天井が高い、明るい、幅広い年代層が利用している。

付 11 羽村市図書館利用者アンケート 集計結果 (悪いところ)

市内利用者(無記入含む)

- ・受付の対応(10)
- ・一部マナーの悪い人が居るので(寝ていたり、携帯を使ったり)(9)
- ・本が探しにくい(6)
- ・本が汚いことがたまにある(4)
- ・古本が多い(4)
- ・本の収納棚いっぱい出し入れしにくい(3)
- ・CDが古い(3)
- ・雑誌種が減った(3)
- ・イスが少ない(3)
- ・本を返すときが不便(2)
- ・新刊本が少ない(2)
- ・本の並べ方(2)
- ・1人20冊にして欲しいです(2)
- ・スチールパイプ付のイスが座りにくい(2)
- ・雑誌の読み場所が狭い(2)
- ・勉強する席がない(1)
- ・図書館の人が大きな声を出したら迷惑(1)
- ・ポストを駅など増やして欲しい(1)
- ・開館時間が30分早くなると有難い(1)
- ・リクエスト方法が不明(1)
- ・ブラインドの傾け方が悪い(1)
- ・新刊書(小説)が借りにくい(1)
- ・意見に対し、改善するとの返答をもらってもなかなか実施されてないところ(1)
- ・節電を理由に1台パソコン検索できない(1)
- ・子ども図書室のところが少し狭い(1)
- ・戸が透けてないところ(1)
- ・節電が社会的傾向とはいえ暑すぎる。本を読む環境ではない(1)
- ・曲を聴くところがうるさい(1)
- ・出入口のピンポンが、何も無いのに鳴りすぎる(1)
- ・いろんなジャンルの本はあるけれど1つ調べたいことに対してたくさんの資料がほしいけれどあまり揃わない。(1)
- ・リクエストに対する時間がかかっている。(1)
- ・植物を大切にしてもらいたい(1)
- ・ネットでの個人ページ画面がスクロールしづらい(1)
- ・ソファがきたない(1)

付 11 羽村市図書館利用者アンケート 集計結果 (悪いところ)

- ・ハードカバーの本ばかりなので考慮して欲しい。(1)
- ・全面禁煙なのに吸っているやつを見逃している (1)
- ・図書館を利用したイベントなどの企画力が無い。専門性のある館長を民間から募集したらどうでしょうか。(1)
- ・本が除籍になってしまい、借りられなくなる。(1)
- ・階段が長く疲れる。(1)
- ・分館の閉館時間が 5 時なのは早すぎる。(1)
- ・月曜日もやってほしい (1)
- ・図書館は学生の勉強の場ではない (1)・
- ・コピー機の説明の音が大きすぎる。コピー機は 1F のほうがいいと思う。(1)
- ・良い本が少ない。(1)
- ・CD (貸出点数) 2 点は少ない (1)
- ・Web サイトが古い。(1)
- ・本が圧倒的に少ない。(1)
- ・返却日が一日でも過ぎると予約できないのは少し厳しい。(1)
- ・雑誌「NHK 今日の料理」の貸し出しはその月が終わってからにして下さい。(1)
- ・休館日以外の休みが多い。(1)
- ・履歴を残してほしい、ユーザーが見えるようにしてほしい。(1)

広域利用者

- ・本を自分で戻すのに苦労します。あと本が一杯で入らないです (3)
- ・古い本が多い (2)
- ・分類が少し分かりにくい (分類番号で探す時見つけられないことがある)
- ・返却は図書館の方にやっていただきたい。"
- ・駐車場が狭い
- ・閲覧室の席数が少ないところ
- ・継続して借用できる回数を増やして欲しい。
- ・館内で話し声 (大人の方の) がした際には一声注意をしてほしいと思います。
- ・小説などをもう少し増やしてほしい。
- ・窓側が暑い
- ・休館日を月曜日のみにして欲しい。15 日が月曜日意外だと 2 日休みになってしまうため。
- ・テレビ (ビデオ) を見るスペースが狭い
- ・床材を靴音が響かない材質に変えて欲しい
- ・地下の空気が少し悪い。

本の配置等についての改善

- Q 本棚の分類番号等がわかりづらいのもっとわかり易くしてもらいたい。
(7)
- A 検索機・掲示してある見取り図でのご確認をお願いします。ご不明の場合には、職員にお尋ねください。
- Q 絵本等の配置がわかりづらく、取り出しにくい。(6)
- A 本棚等を増やしてわかり易くします。利用されていない絵本は書庫に移します。
- Q 新刊コーナーで出たものは、何か印を付けておいて、一度貸し出して戻ってきても、たとえば二ヶ月は新刊コーナーに戻すようにしてもいいと思う。(4)
- A なるべく戻すようにしていますが貸出中の場合もありますので新着資料案内(冊子と検索機)をご参考にしてください。
- Q 季節のものが表にもう少し出ていると選び易い。(1)
- A 季節の行事については、特別展示等で対応しています。
- Q 以前ヤングコーナーのマンガがいたずらされるという理由で表に出ていませんでした。図書館内でなら読めるということでしたが、どんなマンガ本が(存在がわからないと)あるかの表示がないと読めないと思いました。(1)
- A 現在ご指摘のような理由で配架してないものはありません。
買い替えのできない物や除籍予定の物は、配架しておりません。
- Q YAコーナーにしかない本は非常に借りにくい。(1)
- A 職員にお聞きいただければお持ちいたします。
また、予算の関係上全ての本に複本をご用意することは難しい旨をご理解ください。
- Q あるシリーズ(全部で40巻くらい)の1巻、2巻を借りたかったのですが、シリーズ全巻が除籍になっていて借りられませんでした。その作家の本はほとんどが除籍になっていました。除籍するなら、前もって広報とか館内にお知らせを貼ってほしいです。(1)
- A 閉架にある場合や新版が出ている場合もありますので検索機を活用してください。また、お探しの資料がありましたら職員にお尋ねください。

貸出・予約・検索等についての改善

Q もう少し、カウンターに行きやすい雰囲気にしてください。(7)

A 職員への指導を徹底し声のかけ易い雰囲気作りに勤めてまいります。
また、職員からの声かけもして行くよう指導していきます。

Q 出来れば貸出期間は3週間位にしてほしいです。(3)

A 利用者に公平に貸出しするため、羽村市では2週間と定めております。

Q 青梅の図書館は自分で本を返却しなくてよいので楽だし、乱雑になっていない。(2)

A 職員数等の問題もあり難しいです。返却場所がわからない場合は、返却本棚への返却してください。(ラックは時間を決めて職員が配架しています。)

Q 青梅の図書館は自動貸出機があるので時間がかからずスピーディ。(2)

A 羽村市の現在のシステムでは無理です。(ICタグの設置が必要であり経費的問題がある)

Q CD、DVDの返却を返却BOXで利用できるようにして欲しい。(2)

A 今後BOX内で破損しない様な安全対策を図り実施を検討します。

Q 未所蔵のリクエストもホームページから手続きできる様にしてほしいです。(1)

A 現在のシステムでは、できませんのでご理解ください。

Q 返却はカウンター預かりにして館員の方が配架した方がいい。(1)

A 職員数等の問題もあり難しいです。返却場所がわからない場合は、返却本棚への返却してください。(ラックは時間を決めて職員が配架しています。)

Q 予約の取消しはインターネットで出来るとうれしいです(1)

A 現在取り消し理由等を把握しているため実施は考えておりませんのでご理解ください。

Q CD貸出 2枚より多い枚数にしてほしい(1)

A 利用者に公平に貸出しするため現在のところ現状の枚数でご理解ください。

羽村市図書館利用者アンケート
ご意見・ご要望への回答

Q IDを入力したらまとめてリクエストできると良い。(1)

A 技術的な問題が在り検討課題させていただきます。

Q CD 在庫確認をパソコンで見られるようにしてほしい。(1)

A パソコンから検索可能です。ご利用ください。

Q リクエストの本が無かった場合のお知らせが無い。ほかの本の借貸の時にも結果を知りたい(T E Lまでは不要ですが)(1)

A 来館時や電話等で連絡しています。

蔵書の充実について

Q あらゆるジャンルの新刊を入れてほしい。(8)

A なるべく幅広い分野の資料を購入するようにしています。読みたい本がありましたらぜひリクエストをしてください。

Q リクエストが多い物をもう少し購入して欲しい。(6)

A リクエスト数に応じて購入冊数を決めています。(公費節減のため購入上限を3冊とさせていただいております。)

お待たせすることがあると思いますがご協力願います。

Q DVD をふやしてほしい(5)

A なるべく幅広い分野の資料を購入するようにしています。見たいDVDがありましたらぜひリクエストをしてください。

Q 専門書をもう少し増やして欲しい。(5)

A なるべく幅広い分野の資料を購入するようにしています。読みたい本がありましたらぜひリクエストをしてください。

Q 雑誌が以前と比べて減ったので増やしてほしいです。(4)

A 平成 25 年度増冊の予定です。

Q 新刊本はもっと興味のある本を入れて欲しい。他の図書館を見ると現在のベストセラーが入っているので借りたいと思うのがいっぱいあるが羽村は誰が選ぶのか選択が良くない。(3)

羽村市図書館利用者アンケート
ご意見・ご要望への回答

A 羽村市図書館資料選定方針及び予算の範囲内で職員と司書で選定しています。また、ベストセラーについては予約が入っていることが多く新刊コーナーには出ないことがありますのでご理解ください。

Q まんがをもっと増やしてほしいです。(3)

A 予算の範囲内で羽村市図書館の選書基準で慎重な選定を行っております。マンガは、発行サイクルが早く安易に増やせないのが現状ですのでご理解ください。

Q シリーズ本は一度そろえたら外伝も含めて最後までそろえた方がいいのでは？そうでないなら閉架に移した方がいい。(2)

A 基本的に購入しておりますので、欠本の可能性ありますのでリクエストをしていただくと助かります。

Q 単行本(時代物)をもっと多くして欲しい(2)

A なるべく幅広い分野の資料を購入するようにしています。読みたい本がありましたらぜひリクエストをしてください。

Q 今後は紙による本だけでなく機械式な本(電子書籍)の対応を考えてほしいと思います。(1)

A 利用者の公平性が保てないので、現在実施予定はありません。

Q 富士見平の分室に大人向けの本があるといいなと思います。(1)

A スペースの問題があり現状では無理ですが子育て支援の本については配架していきます。

Q スポーツ新聞も再び見られたらと思います。(1)

A 予算上再開は難しいです。ご理解ください。

Q 語学(英語)の資料の充実(1)

A なるべく幅広い分野の資料を購入するようにしています。読みたい本がありましたらぜひリクエストをしてください。

Q 外国人作家の本をもう少し充実させてほしい(スペイン人やフランス人、ドイツ人など)(1)

A 幅広い分野の資料を購入するようにしています。読みたい本がありましたらぜひリクエストをしてください。

施設・設備等について

Q 図書館内にもっとテーブルやイスがあると良い(5)

A スペースの問題があり現状では難しいです。ご理解ください。

Q 飲食コーナーを設けて欲しい。本気で「利用者の目線に立った図書館サービス」を心がけているのなら、必ず道はあると思います。(3)

A 生涯学習施設として、「ゆとろぎ」と友好の橋で一体施設となっています。「ゆとろぎ」の施設で飲食可能な場所や食堂もありますのでご利用ください。

Q HPをスマートフォンにも対応して欲しい。(3)

A 新システムで対応できるか検討させていただきます。

Q 休憩室が3階と3階テラスだけでは大変なので、1F、B1Fにもあるといいです。(2)

A スペースの問題があり現状では難しいです。ご理解ください。

「ゆとろぎ」の施設で飲食可能な場所や食堂もありますのでご利用ください。

Q 席のプライバシーが確保されていない。青梅図書館の席(全部ではないが)を見学してきてほしい。(2)

A 地下・3階の席に間仕切りがないとのことですが、間仕切りをすると占有できる面積が小さくなりますのでそのことも含めて検討させていただきます。

Q 無線LANサービス提供をお願いします(2)

A システムや建物の構造上無線LANは難しいです。理解ください。

Q 手荷物を預けられるロッカーがあると助かります(1)

A スペースの問題があり現状では難しいです。ご理解ください。

Q ちょっとした紙片などを捨てるゴミ箱が無く、できれば設けていただきたい。(1)

A 図書館内は、ゴミは持ち帰りとさせていただいておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

羽村市図書館利用者アンケート
ご意見・ご要望への回答

その他

Q 新聞を独り占めに読んでいたり、寝ていたりしている人等を注意してほしい。

(9)

A 館内見回りを強化し注意するように心がけていきます。

Q 休館日を少なくしてほしい。(5)

A 現在、月曜日(休館日)が祭日の場合は、開館しておりますのでご理解ください。

Q カラーコピー機の設置を望む。(1)

A コピー機については、業者が設置しているため業者に要望していきます。